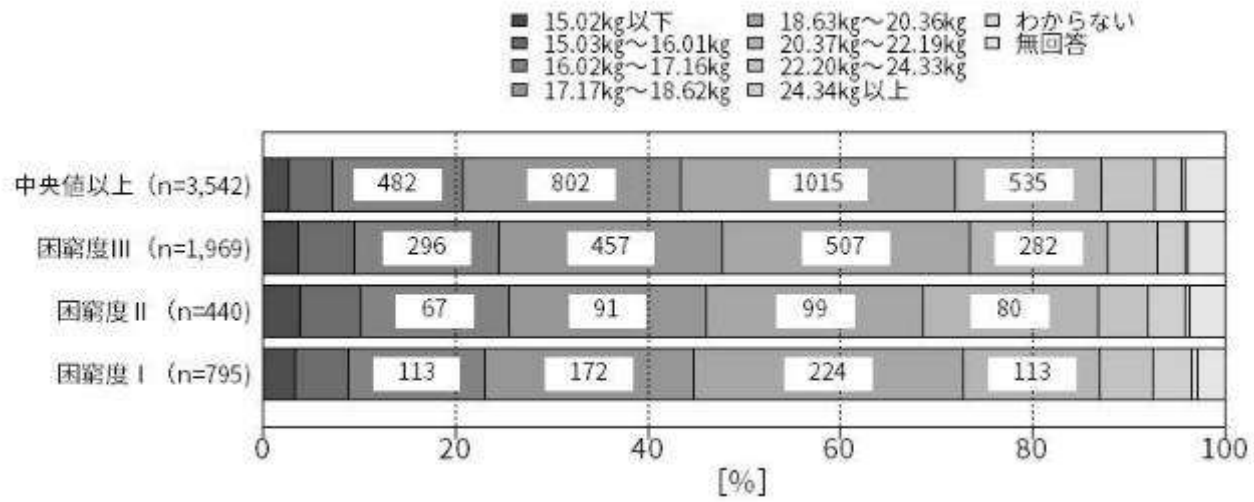
困窮度別に見た、現在の体重（問 13-1）＜男子＞

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市阿倍野区＞

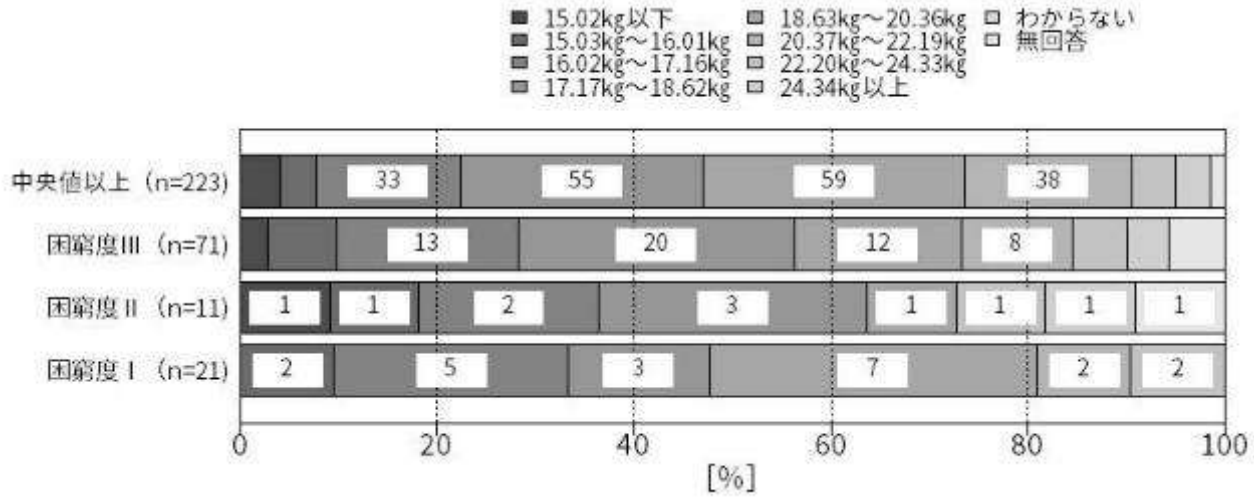
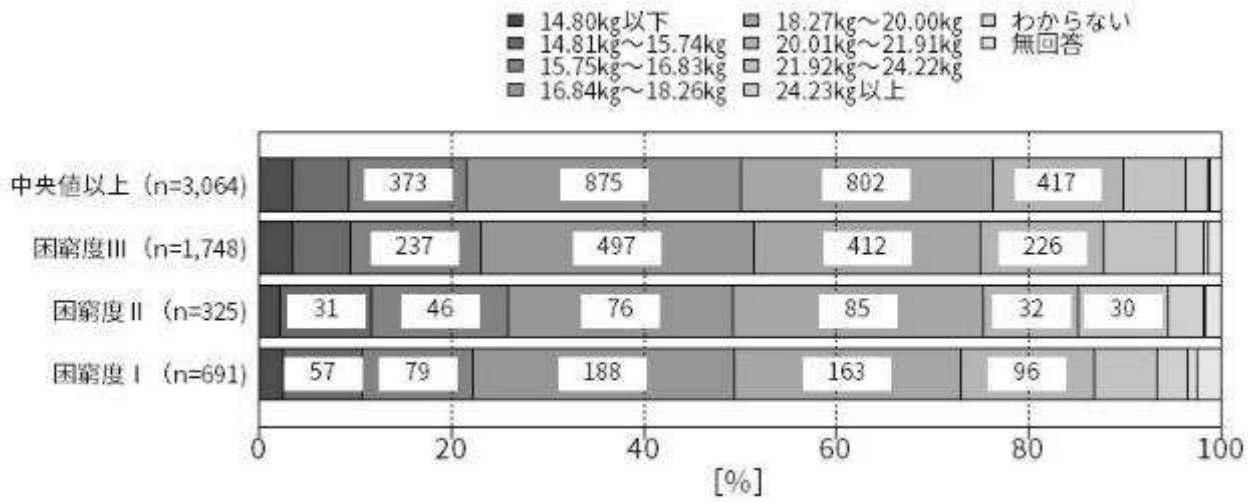


図 127. 困窮度別に見た、現在の体重＜男子＞

困窮度と現在の体重（男子）に関係は見られなかった。

困窮度別に見た、現在の体重（問 13-2）＜女子＞

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市阿倍野区＞

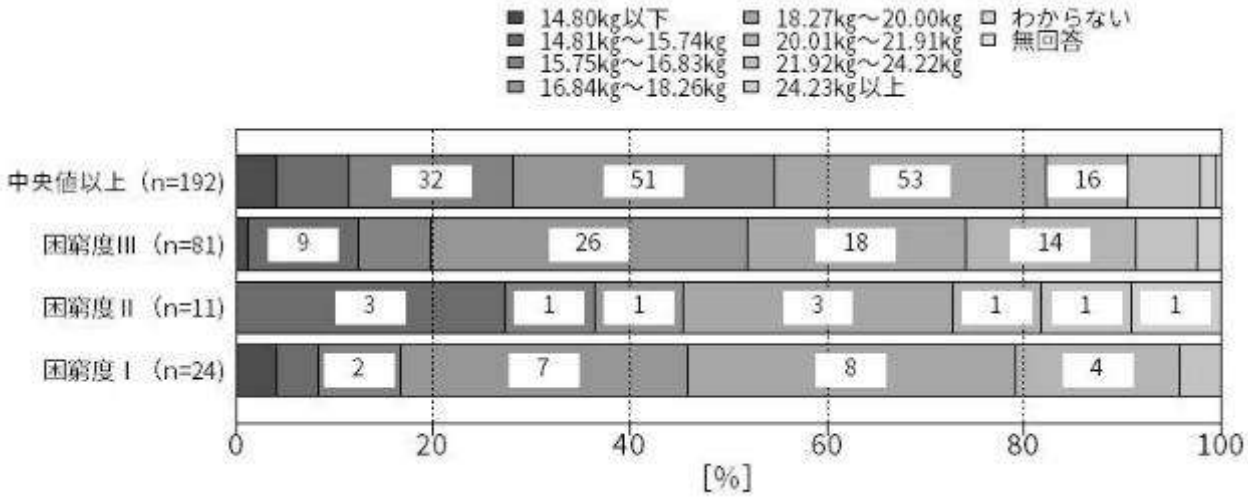
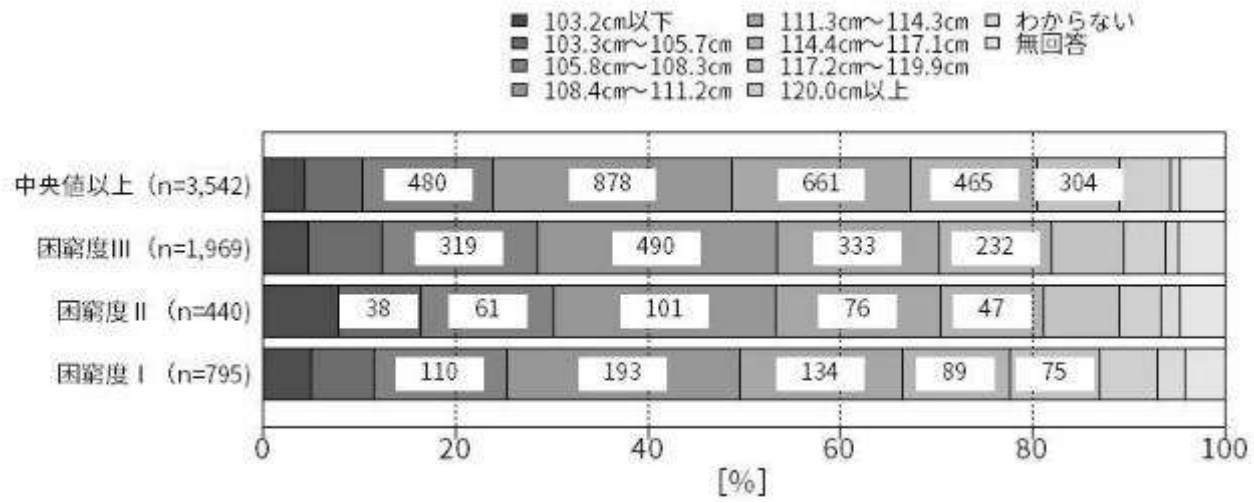


図 128. 困窮度別に見た、現在の体重＜女子＞

困窮度と現在の体重（女子）に関係は見られなかった。

困窮度別に見た、現在の身長（問 14-1）＜男子＞

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市阿倍野区＞

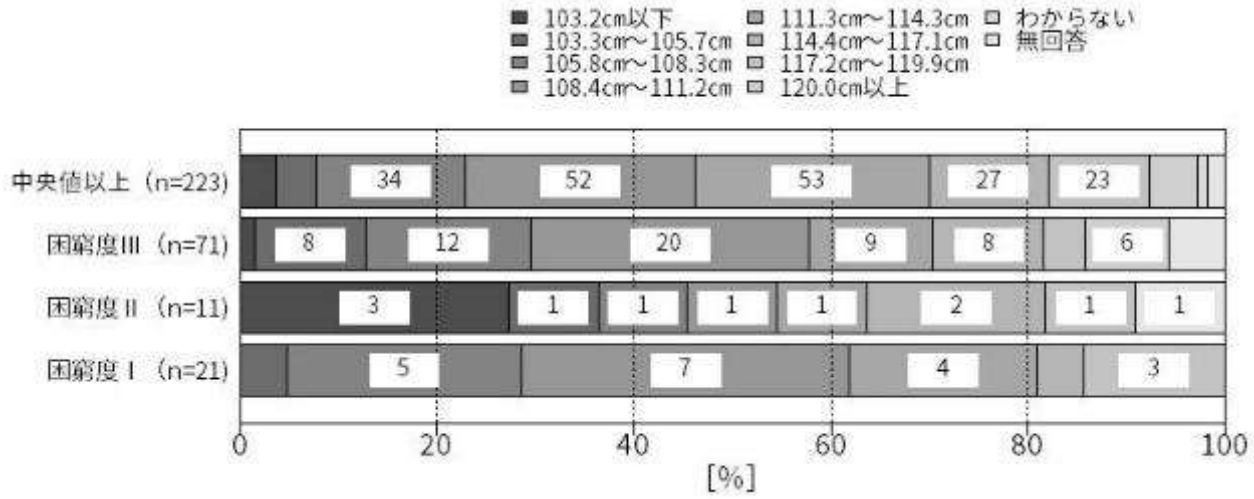
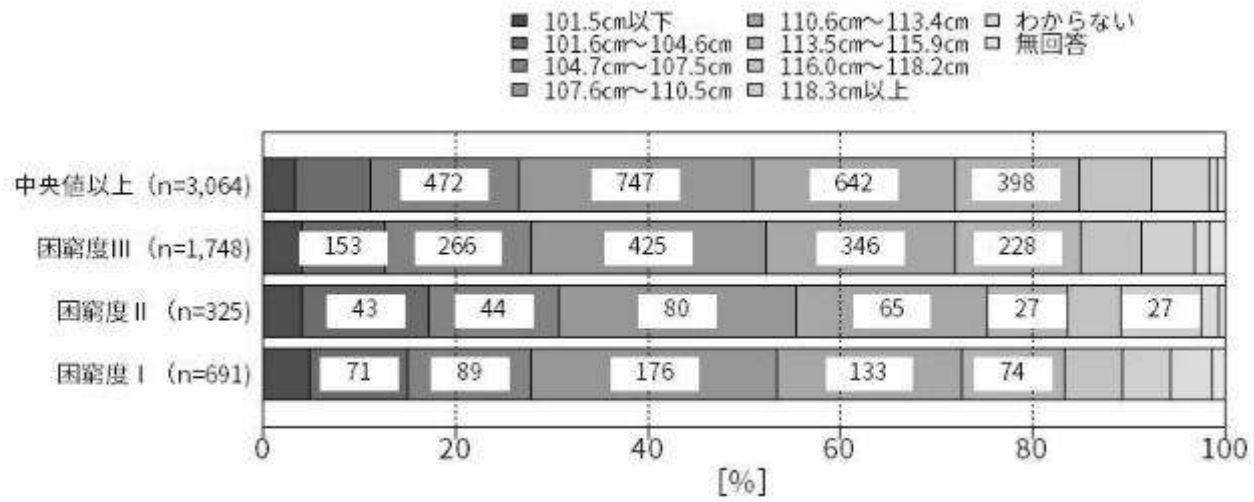


図 129. 困窮度別に見た、現在の身長＜男子＞

困窮度が厳しくなるにしたがって、現在の身長が低い男子の割合が高くなる傾向にあった。

困窮度別に見た、現在の身長（問 14-2）＜女子＞

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市阿倍野区＞

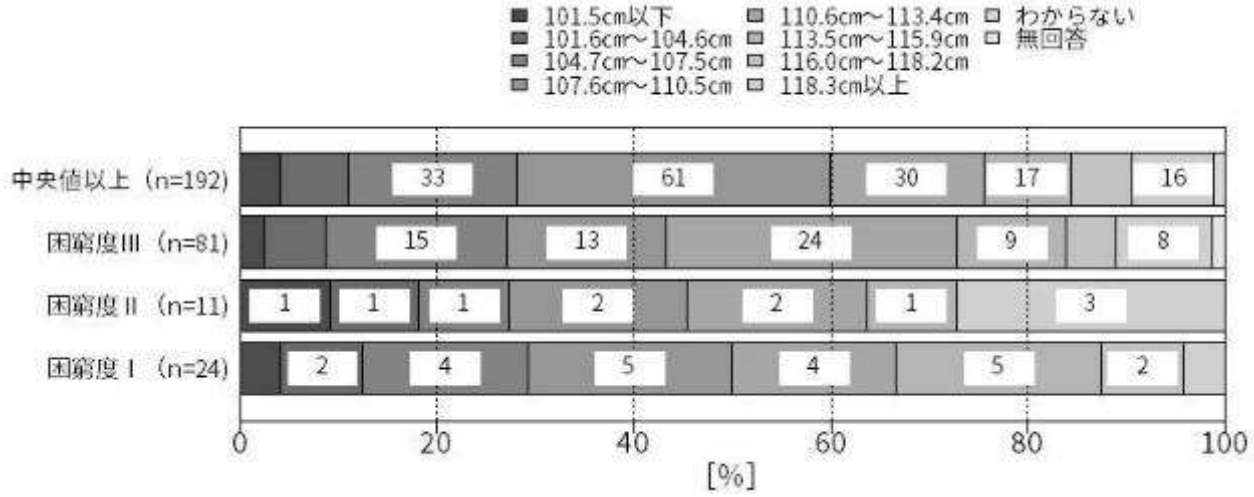
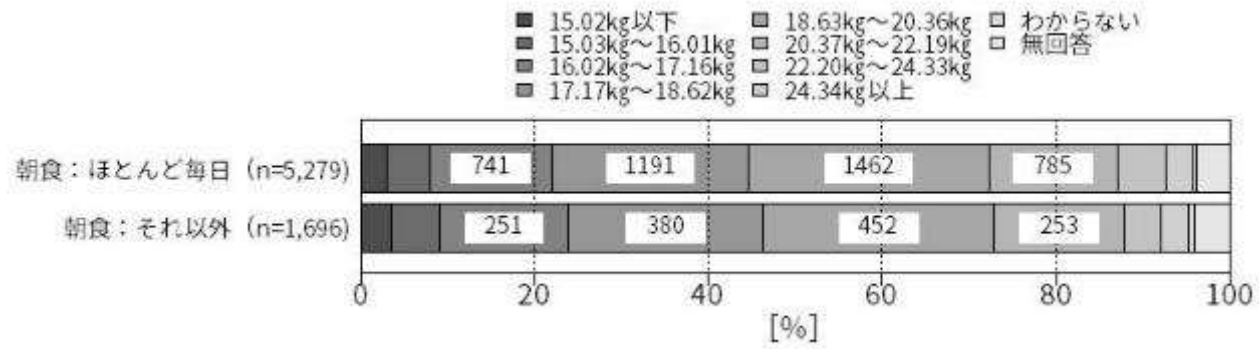


図 130. 困窮度別に見た、現在の身長＜女子＞

困窮度が厳しくなるにしたがって、現在の身長が低い女子の割合が高くなる傾向にあった。

朝食の頻度別に見た、現在の体重（問 17×問 13-1）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市阿倍野区＞

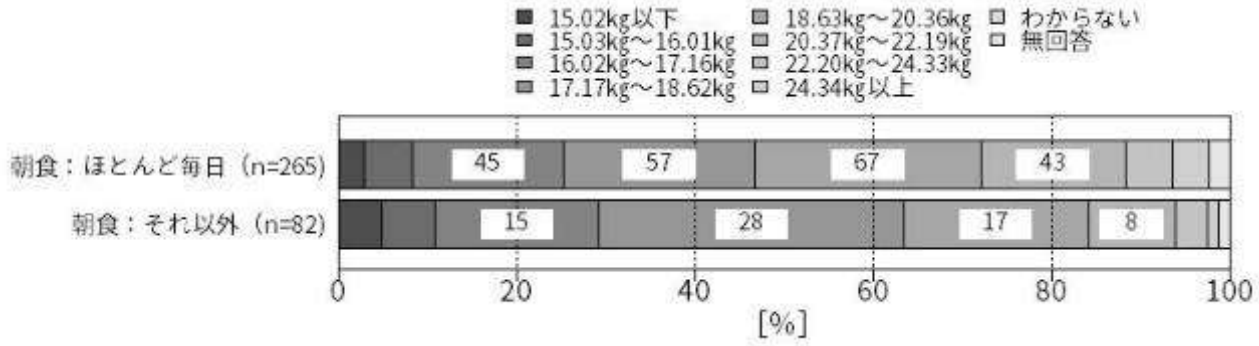
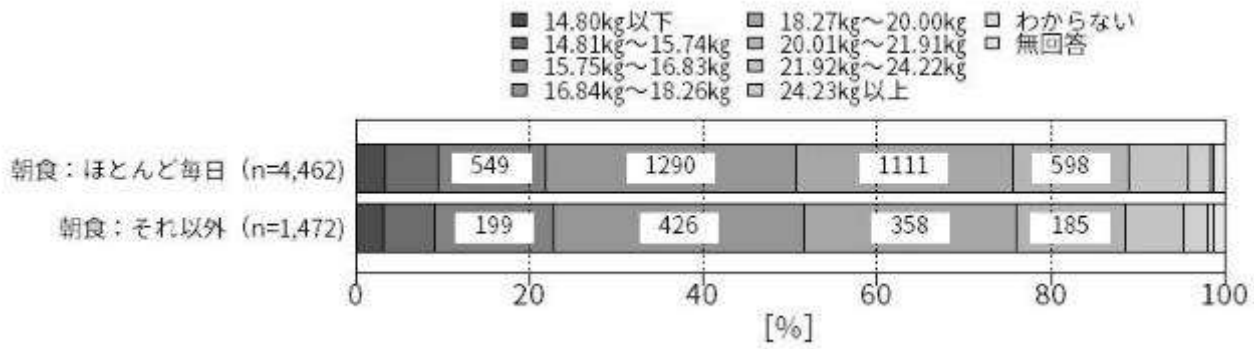


図 131. 朝食の頻度別に見た、現在の体重

朝食をほとんど毎日食べない男子は、体重が少ない割合が高くなる傾向にあった。

朝食の頻度別に見た、現在の体重（問 17×問 13-2）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市阿倍野区＞

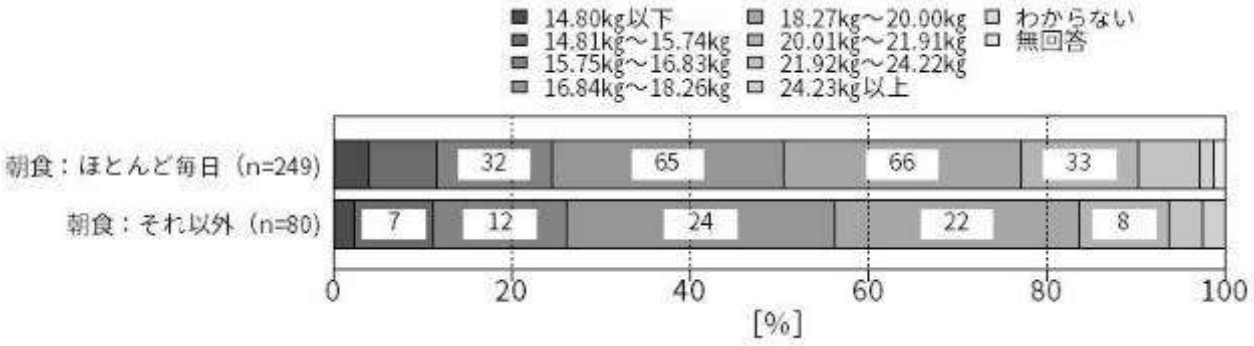
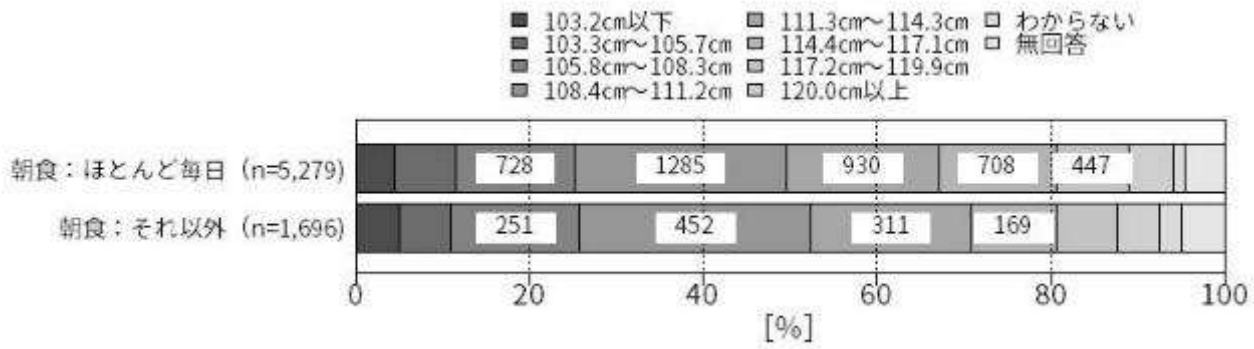


図 132. 朝食の頻度別に見た、現在の体重

朝食の頻度と女子の体重に関係は見られなかった。

朝食の頻度別に見た、現在の身長（問 17×問 14-1）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市阿倍野区＞

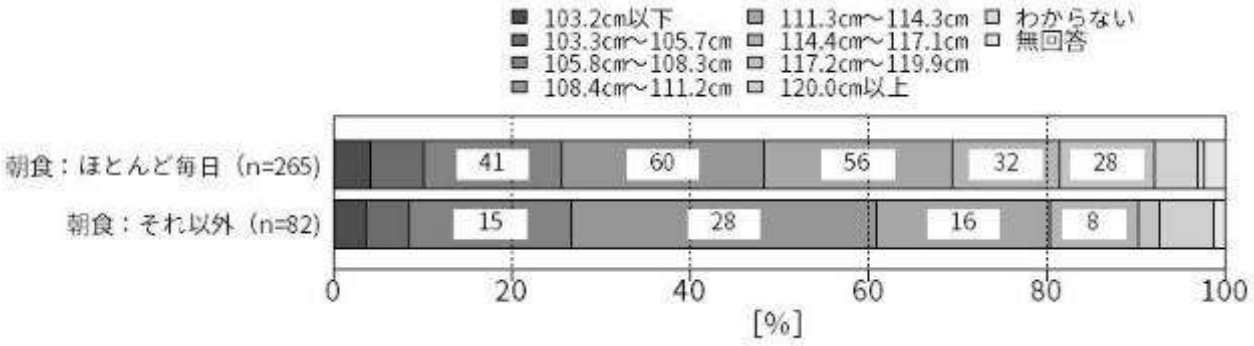
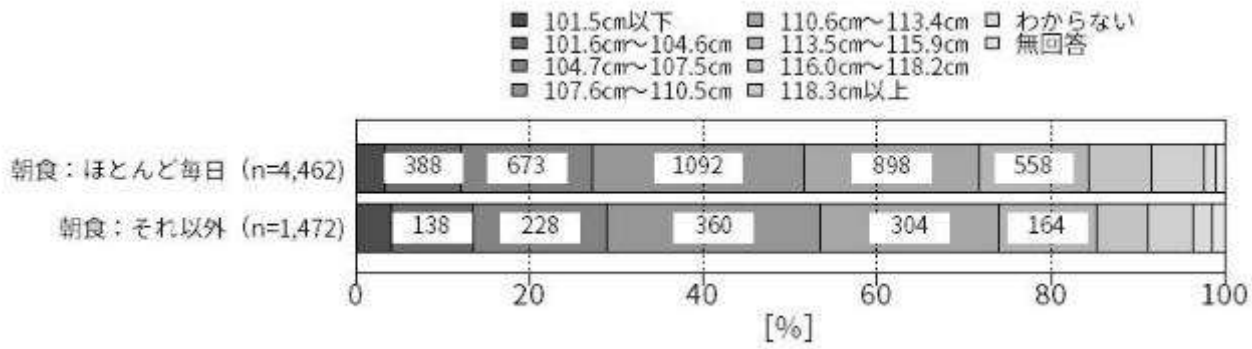


図 133. 朝食の頻度別に見た、現在の身長

朝食の頻度と男子の身長に関係は見られなかった。

朝食の頻度別に見た、現在の身長（問 17×問 14-2）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市阿倍野区＞

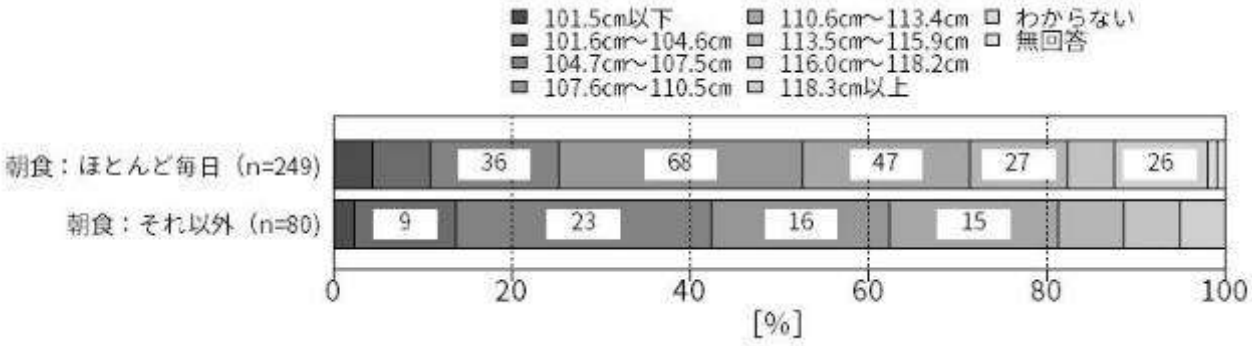
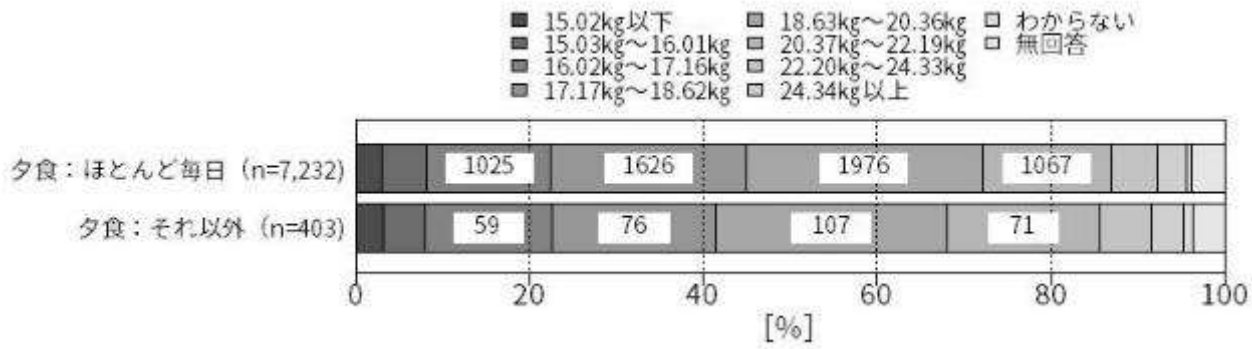


図 134. 朝食の頻度別に見た、現在の身長

朝食の頻度と女子の身長に関係は見られなかった。

夕食の頻度別に見た、現在の体重（問 20×問 13-1）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市阿倍野区＞

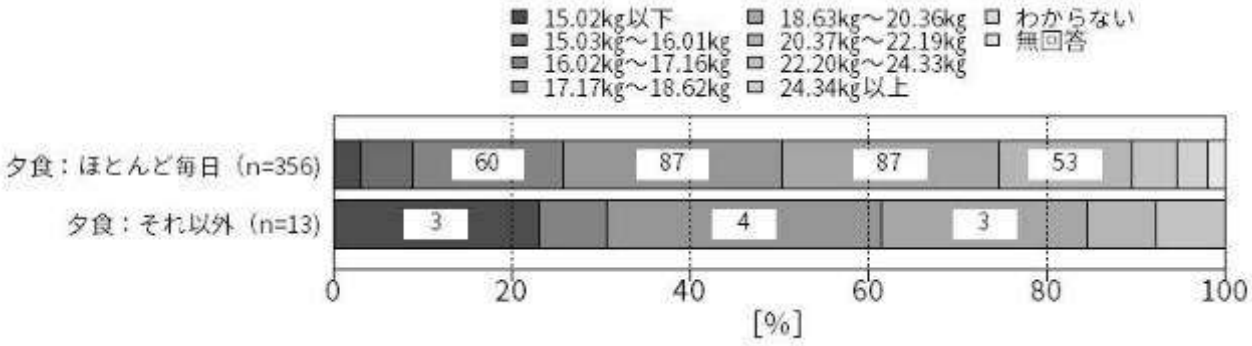
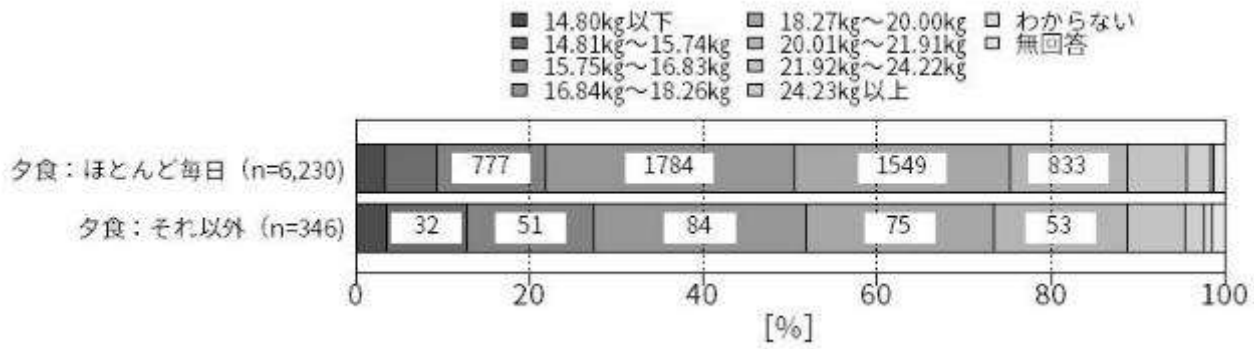


図 135. 夕食の頻度別に見た、現在の体重

夕食の頻度と男子の体重に関係は見られなかった。

夕食の頻度別に見た、現在の体重（問 20×問 13-2）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市阿倍野区＞

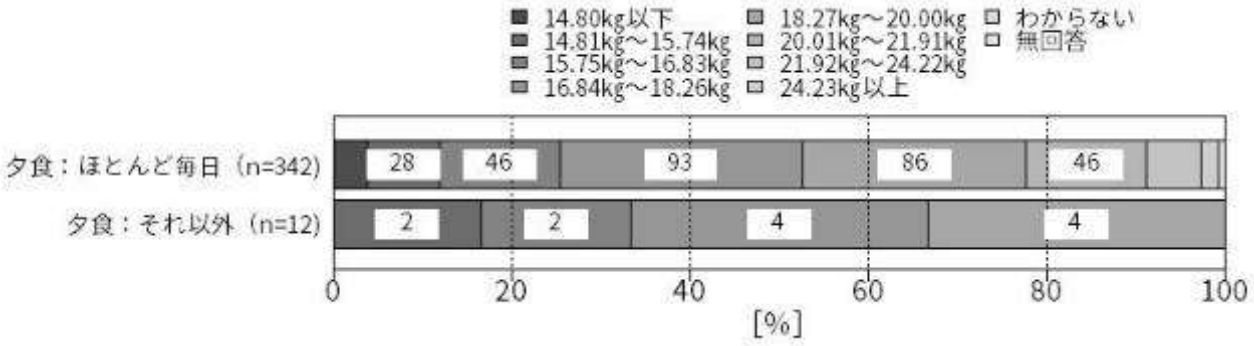
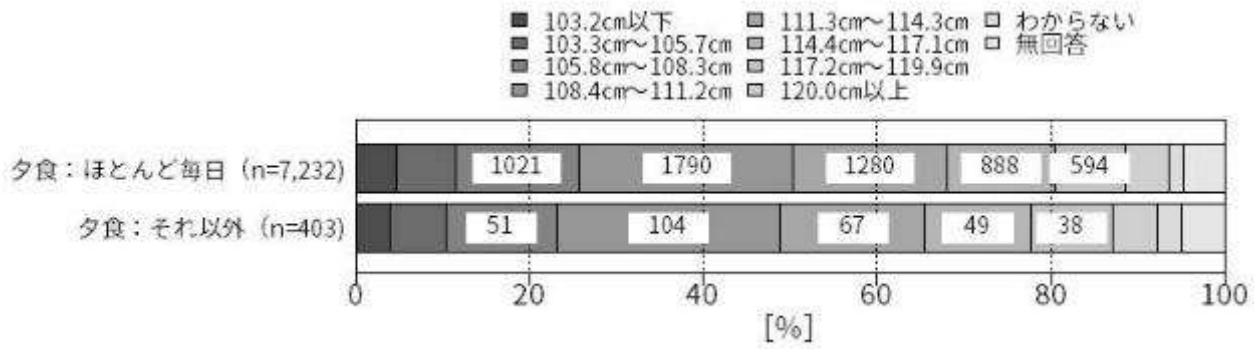


図 136. 夕食の頻度別に見た、現在の体重

夕食をほとんど毎日は食べない女子は、体重が低い割合が高くなる傾向にあった。

夕食の頻度別に見た、現在の身長（問 20×問 14-1）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市阿倍野区＞

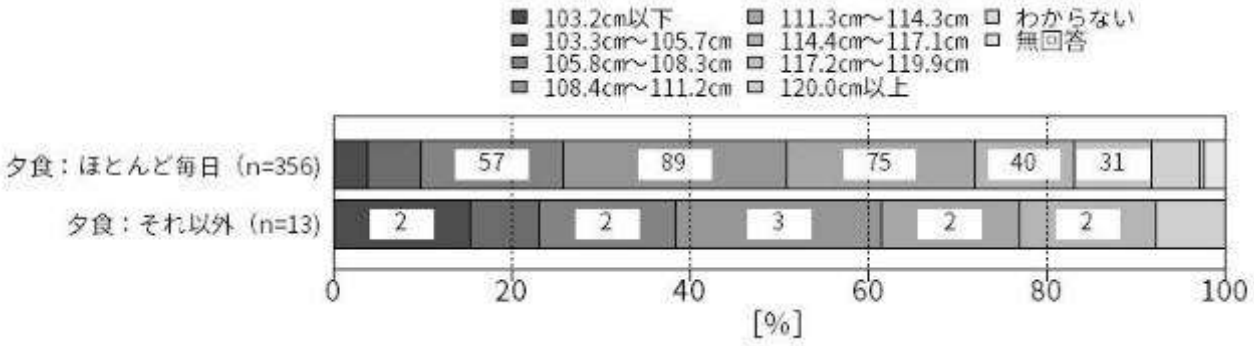
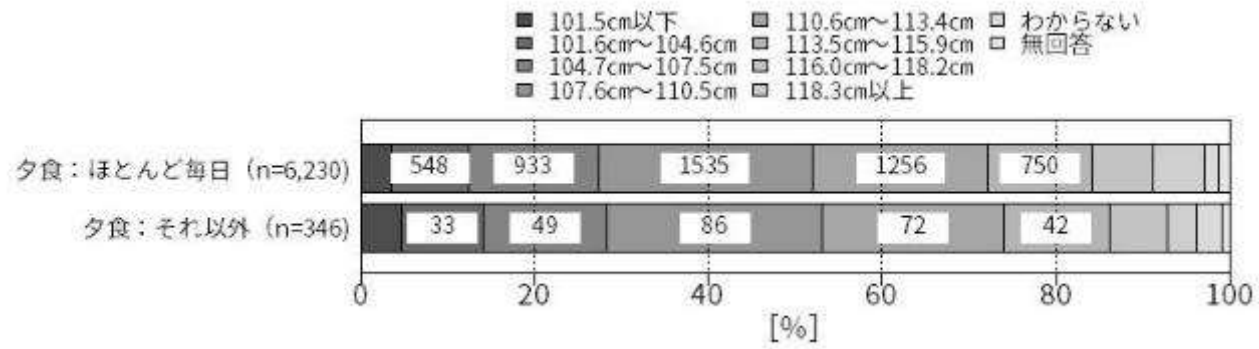


図 137. 夕食の頻度別に見た、現在の身長

夕食の頻度と男子の身長に関係は見られなかった。

夕食の頻度別に見た、現在の身長（問 20×問 14-2）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市阿倍野区＞

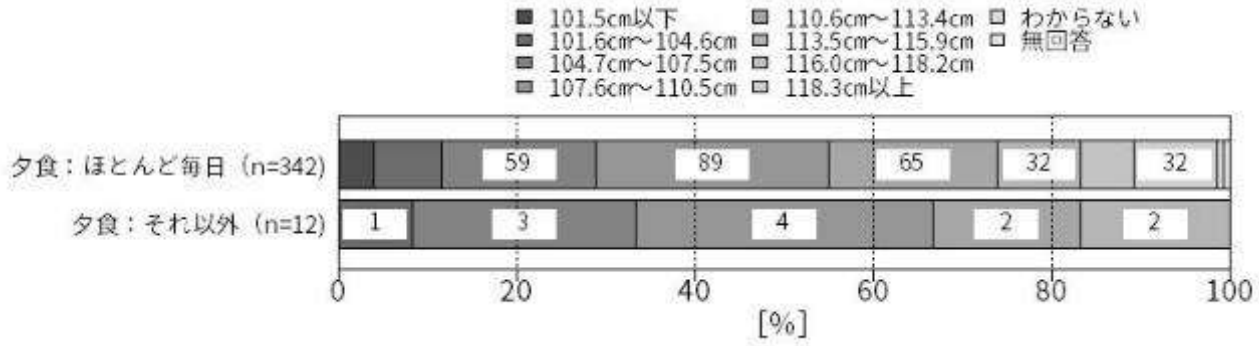
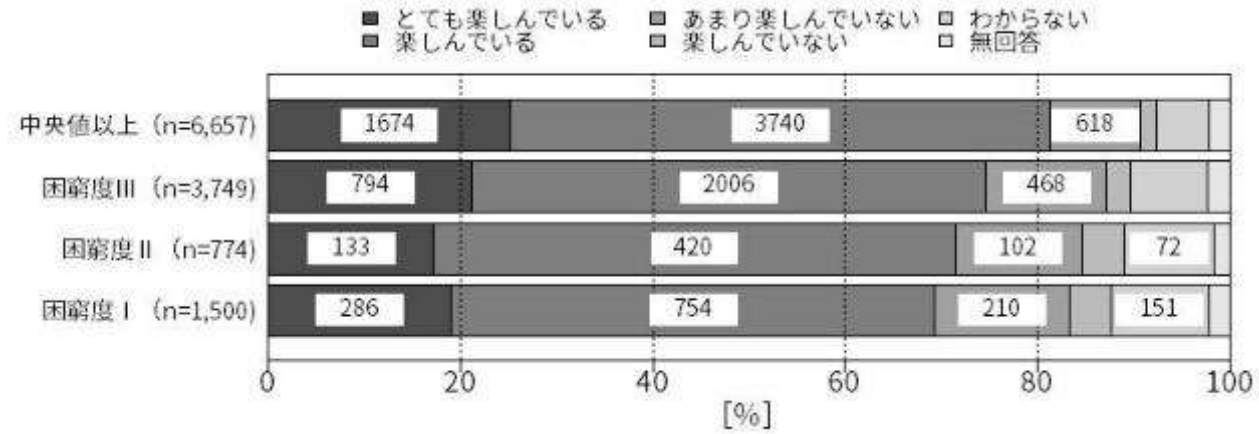


図 138. 夕食の頻度別に見た、現在の身長

夕食をほとんど毎日食べない女子は、身長が低い割合が高くなる傾向にあった。

困窮度別に見た、心の状態（１）生活を楽しんでいる（問 36-1）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市阿倍野区＞

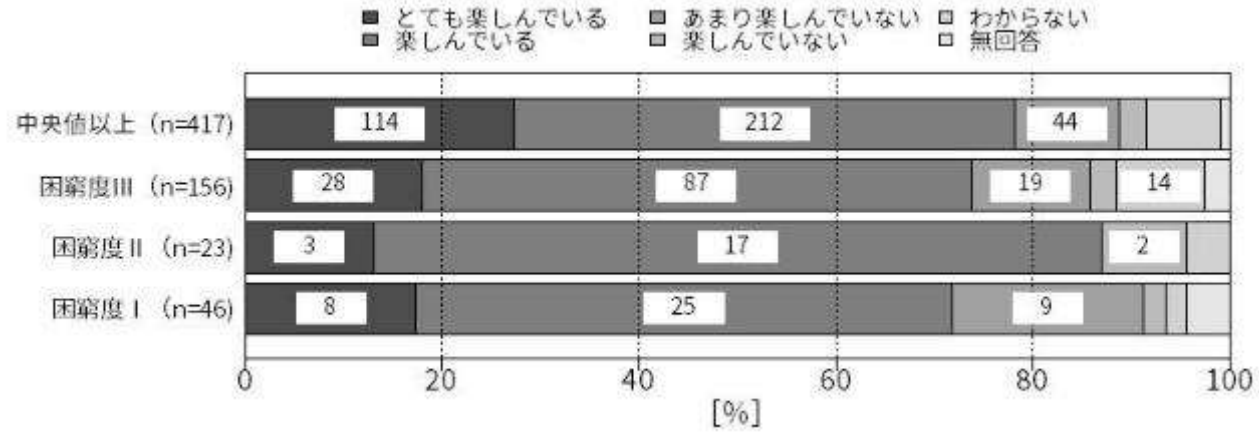
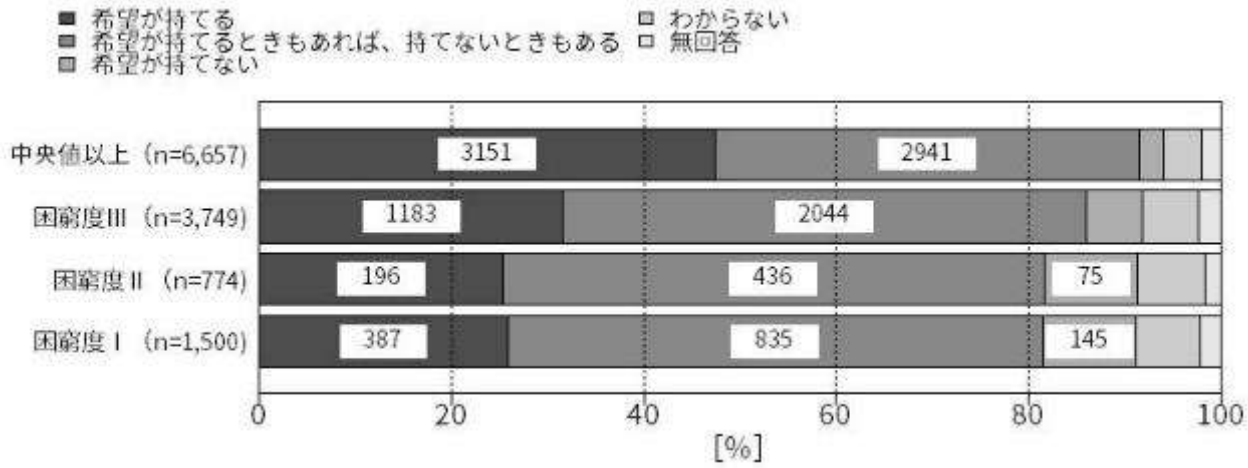


図 139. 困窮度別に見た、心の状態（１）生活を楽しんでいる

困窮度が厳しくなるにしたがって、「とても楽しんでいる」「楽しんでいる」をあわせた割合が低くなる傾向にあり、困窮度Ⅰ群においては 71.7%であった。

困窮度別に見た、心の状態（２）将来への希望（問 36-2）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市阿倍野区＞

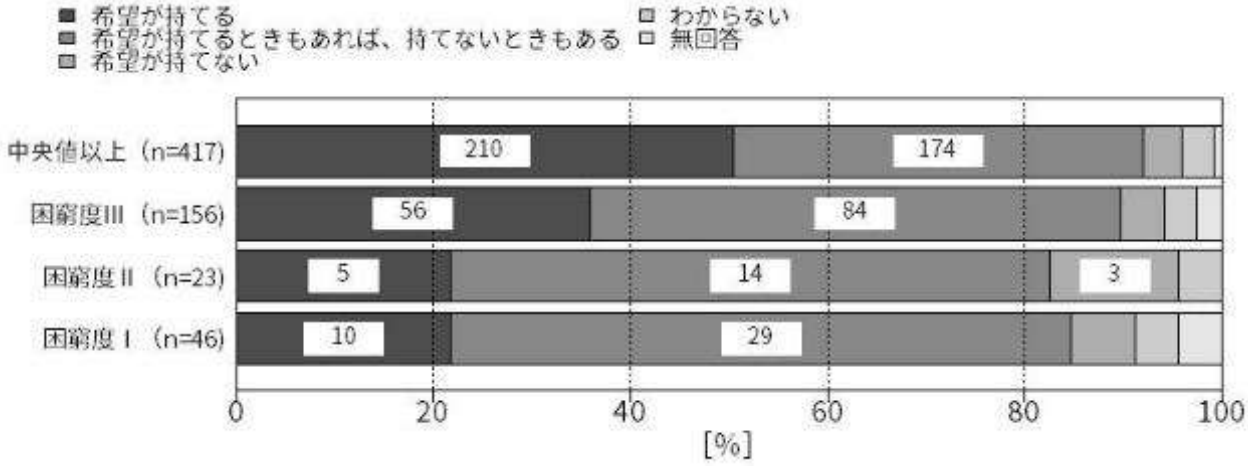
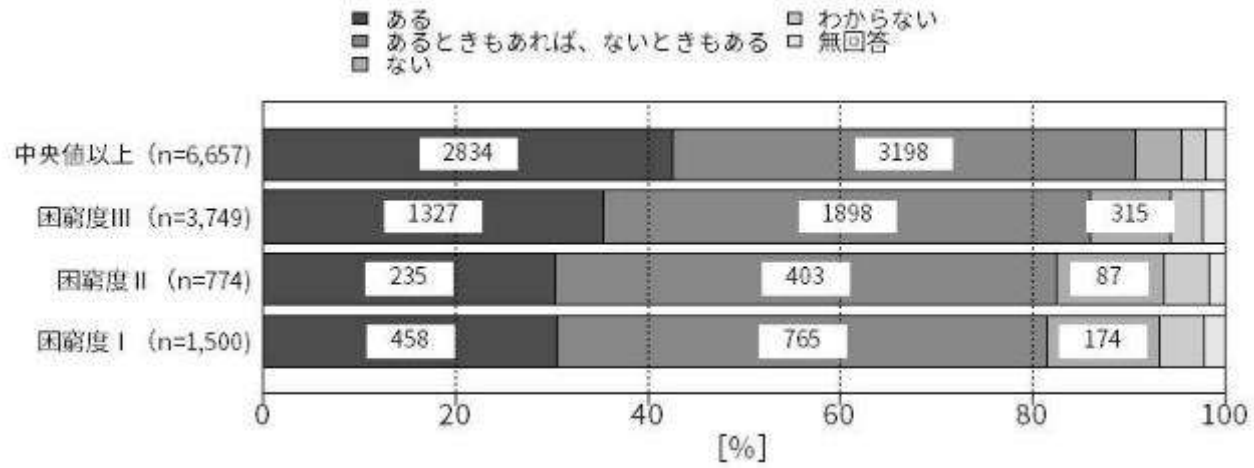


図 140. 困窮度別に見た、心の状態（２）将来への希望

困窮度が厳しくなるにしたがって、「希望が持てる」の割合が低くなる傾向にあり、困窮度Ⅰ群においては 21.7%であった。

困窮度別に見た、心の状態（３）ストレス発散できるもの（問 36-3）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市阿倍野区＞

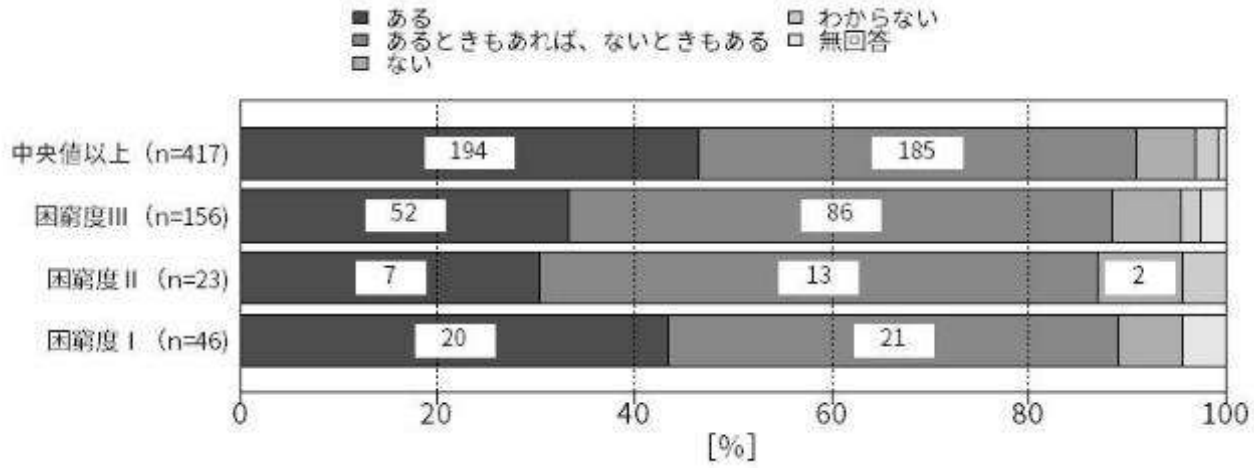
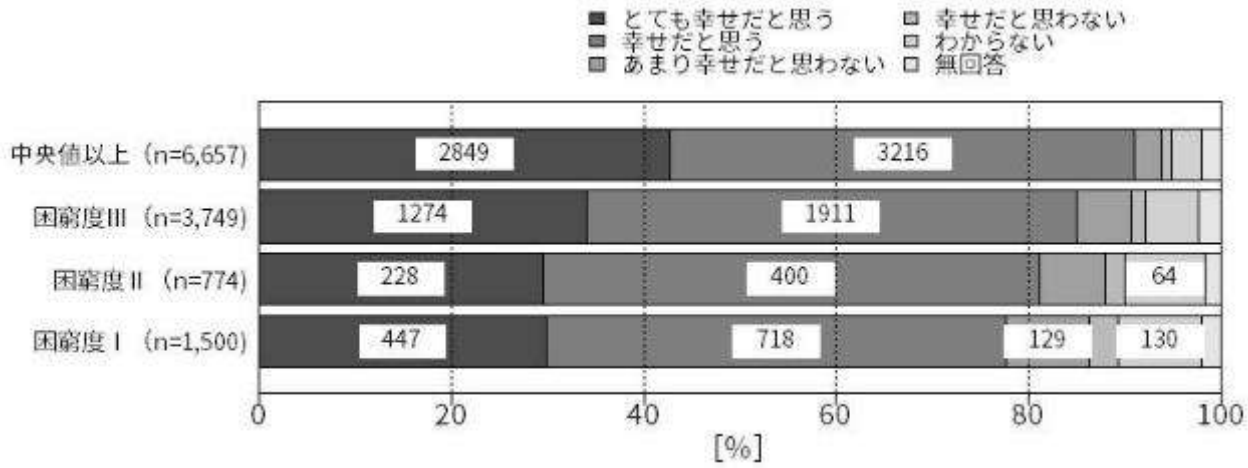


図 141. 困窮度別に見た、心の状態（３）ストレス発散できるもの

困窮度が厳しくなるにしたがって、ストレス発散できるものが「ない」と回答した割合が高くなる傾向にあり、困窮度Ⅰ群においては 6.5%であった。

困窮度別に見た、心の状態（４）幸せだと思う（問 36-4）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市阿倍野区＞

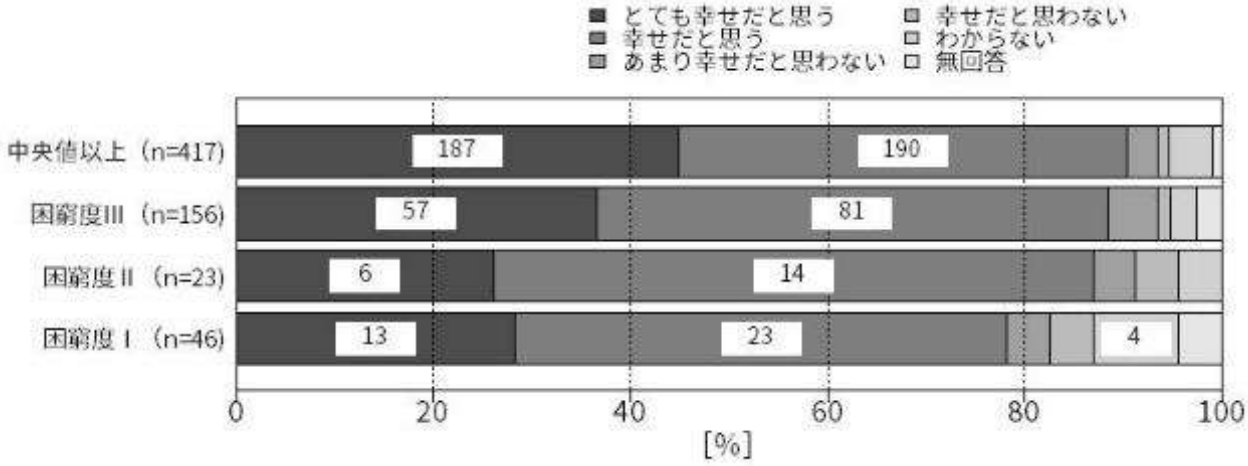
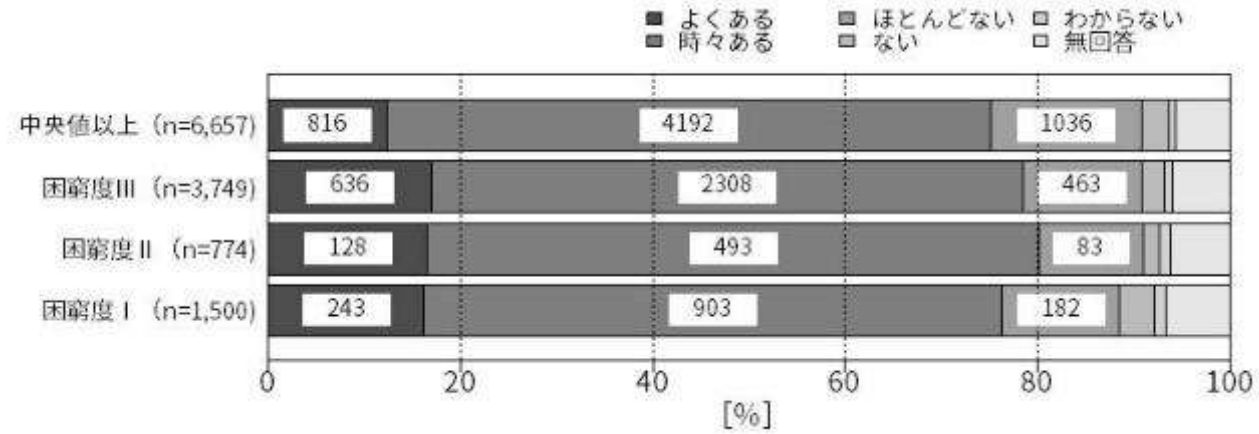


図 142. 困窮度別に見た、心の状態（４）幸せだと思う

困窮度が厳しくなるにしたがって、「とても幸せだと思う」の割合が低くなる傾向にあり、困窮度Ⅰ群においては 28.3%であった。

困窮度別に見た、不安やイライラなどを子どもに向けることの頻度（問 38）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市阿倍野区＞

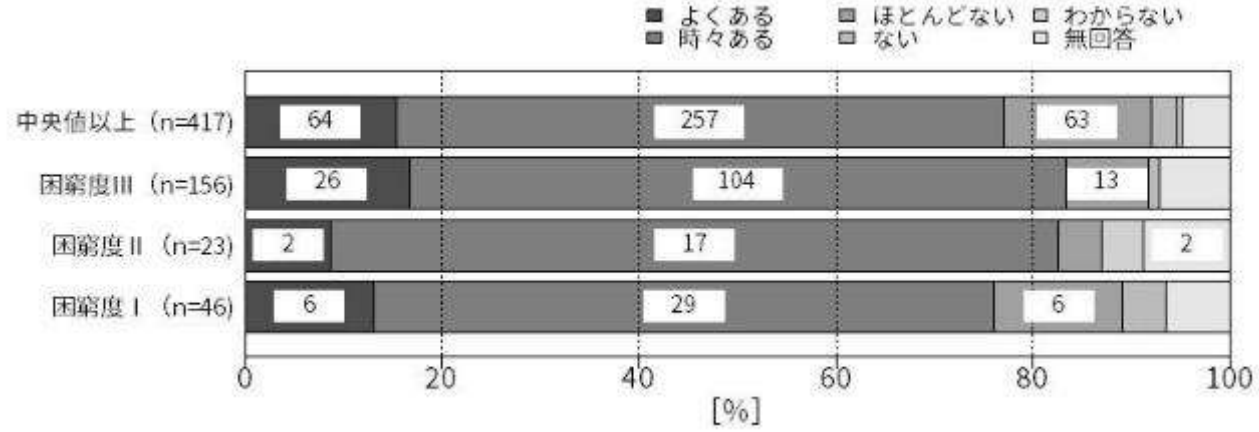


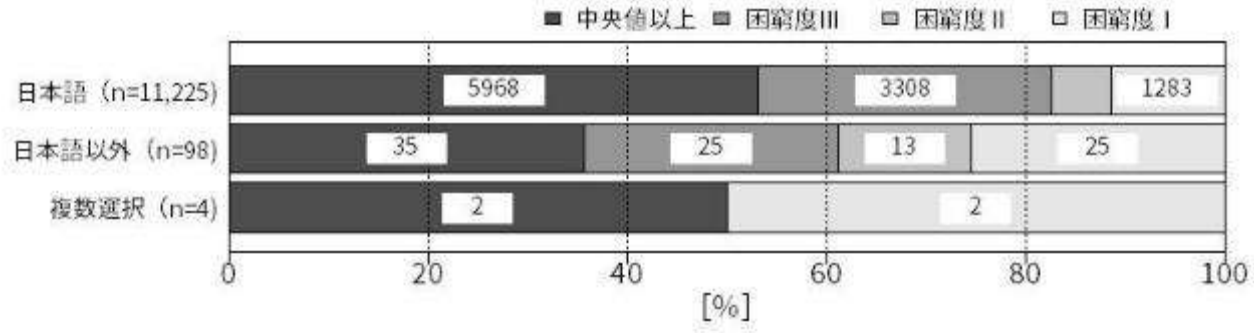
図 143. 困窮度別に見た、不安やイライラなどを子どもに向けることの頻度

中央値以上群では安やイライラなどの感情を子どもに向けてしまうことが「よくある」と回答した割合が 15.3%、困窮度Ⅰ群では 13.0%であった。

３－４．家庭生活・学習

母国語別に見た困窮度分類（問 2）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市阿倍野区＞

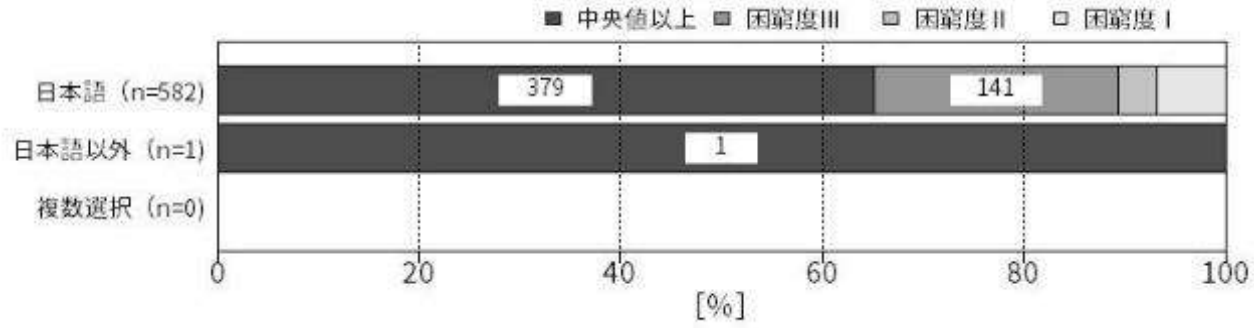
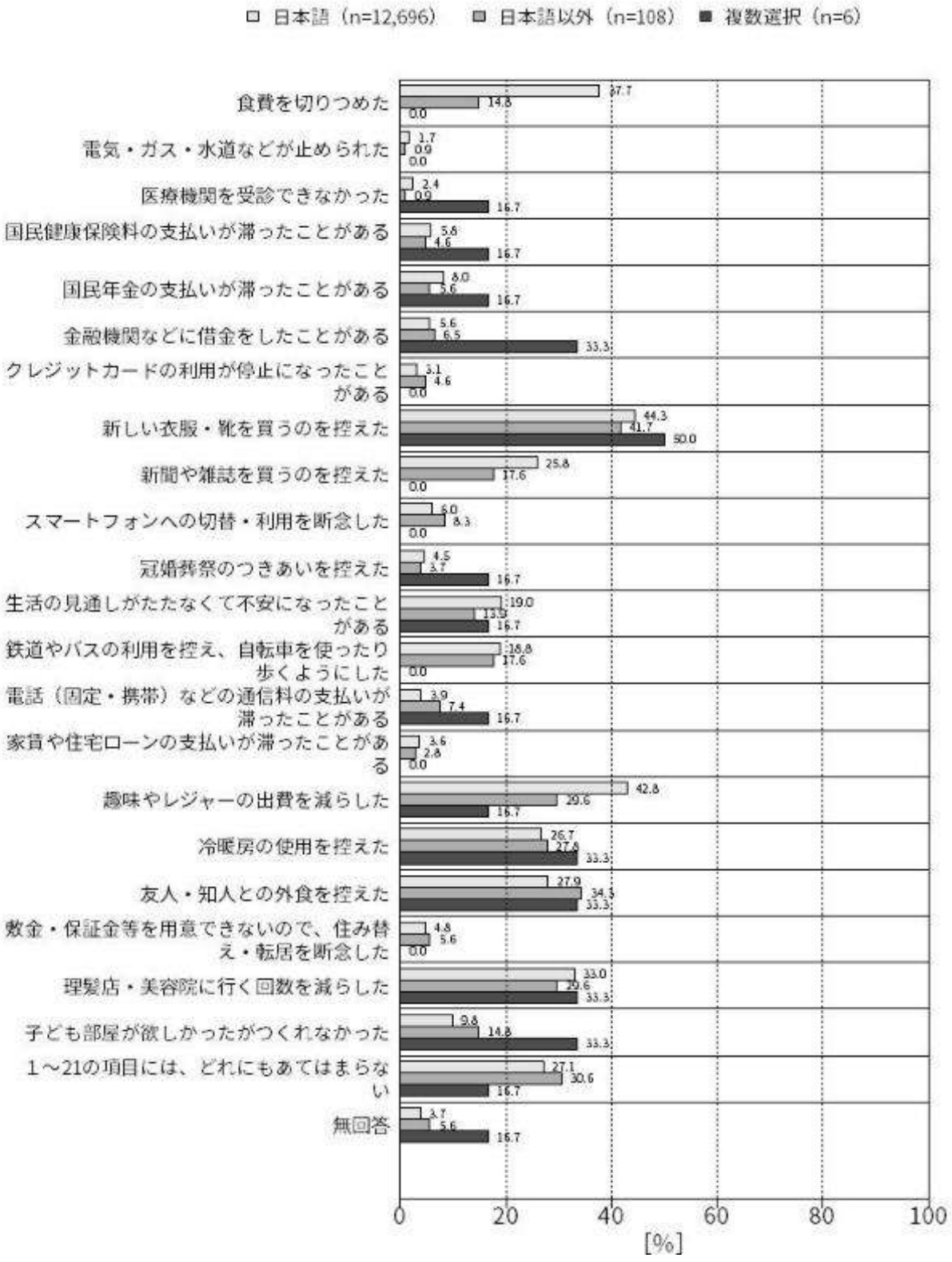


図 144. 母国語別に見た困窮度分類

日本語以外を選択した人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

母国語別に見た、世帯で経済的な理由でできなかったこと（問 2×問 6）

＜大阪市 24 区＞



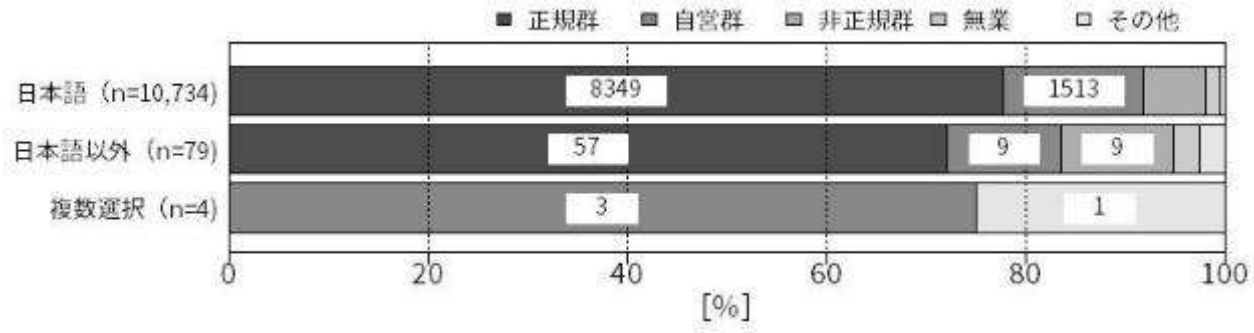
＜大阪市阿倍野区＞

図 145. 母国語別に見た、世帯で経済的な理由でできなかったこと

日本語以外を選択した人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

母国語別に見た就労状況（問 2×問 8）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市阿倍野区＞

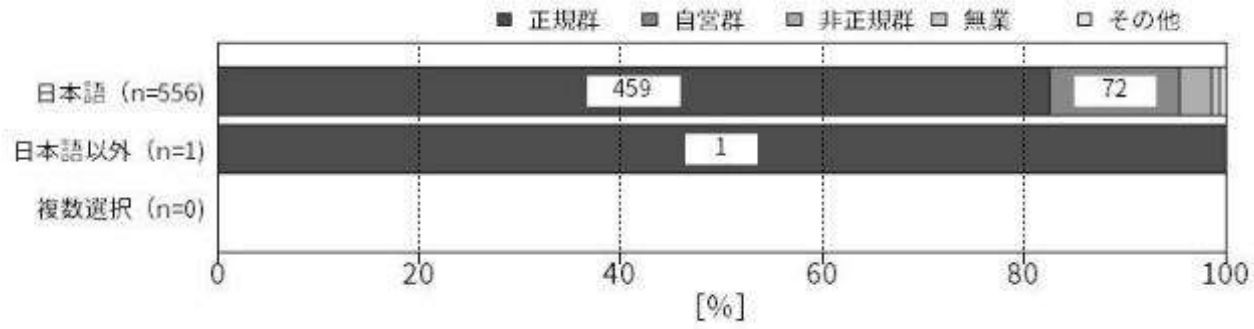
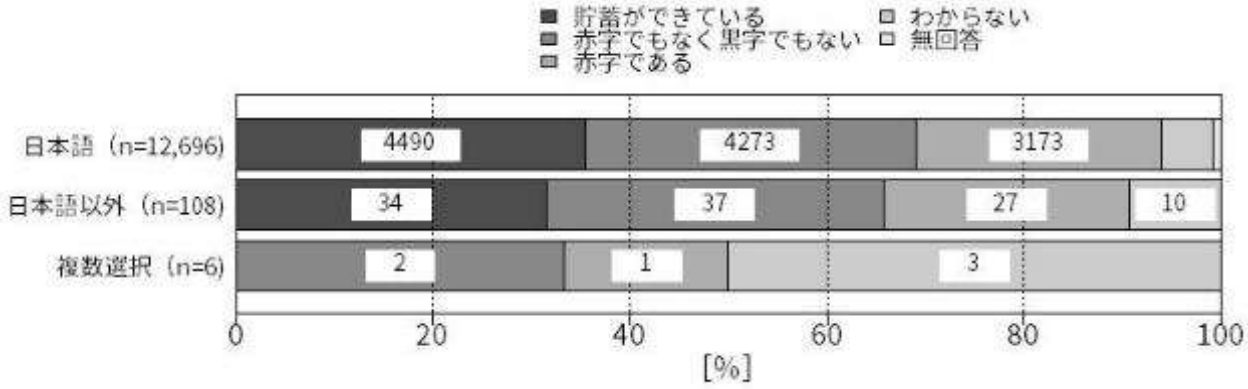


図 146. 母国語別に見た就労状況

日本語以外を選択した人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

母国語別に見た、家計状況（問 2×問 5-1）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市阿倍野区＞

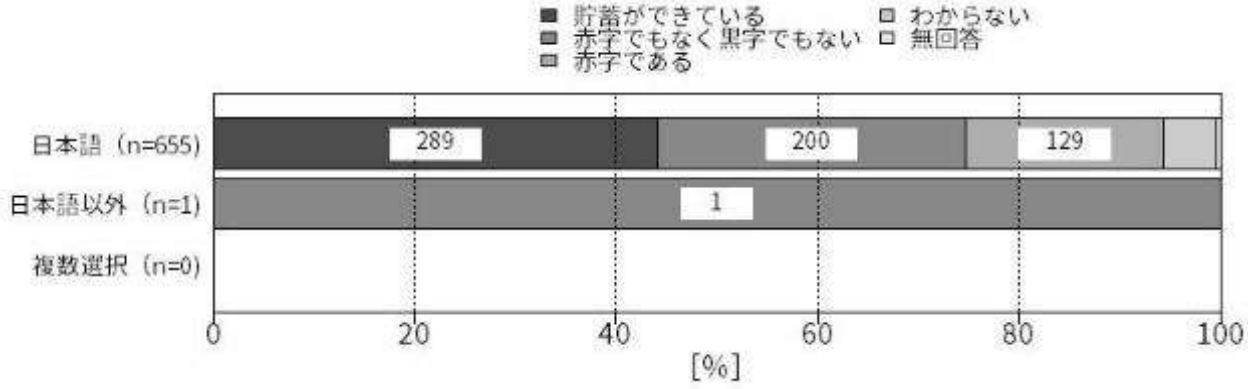
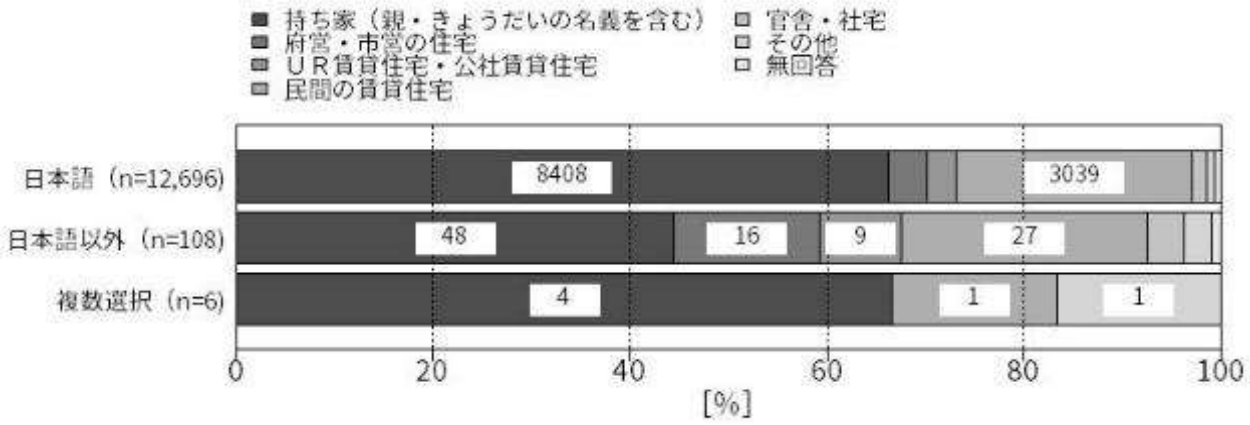


図 147. 母国語別に見た、家計状況

日本語以外を選択した人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

母国語別に見た、住居（問 2×問 4）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市阿倍野区＞

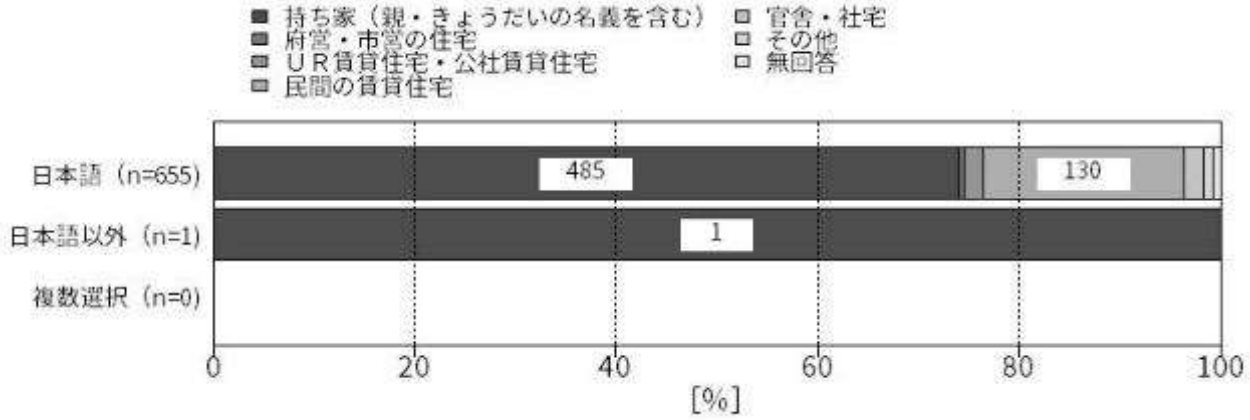


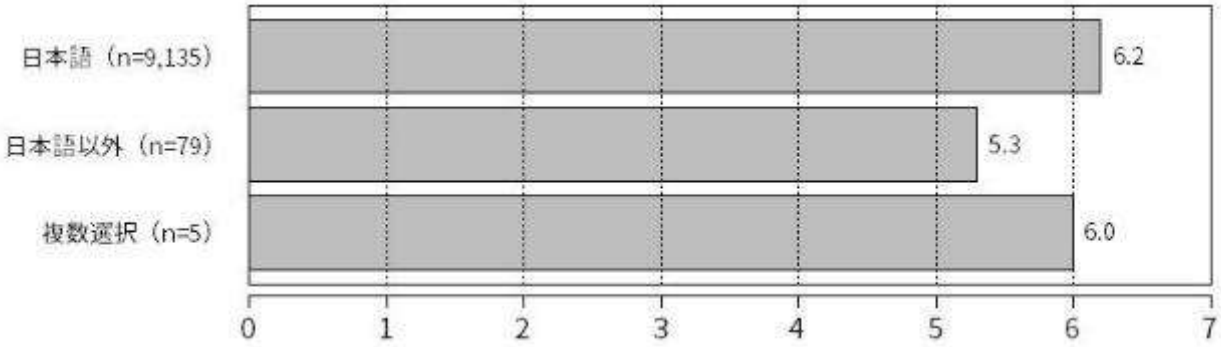
図 148. 母国語別に見た、住居

日本語以外を選択した人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

母国語別に見た、支えてくれる人の数の平均（問 2×問 34）

※「あなたを支え、手伝ってくれる人はいますか」という質問について、「心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人」「あなたの気持ちを察して思いやってくれる人」「趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人」「子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人」「子どもの学びや遊びを豊かにする情報を教えてくれる人（運動や文化活動）」「子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人」「留守を頼める人」の 7 項目を提示した。それぞれの人物が「いる」か「いない」かで評定させたうえで、「いない」を 0 点、「いる」を 1 点とし、7 項目の合計得点を「支えてくれる人得点」とした。得点が高いほど、身近に支えてくれる人が多く存在することを表す。

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市阿倍野区＞

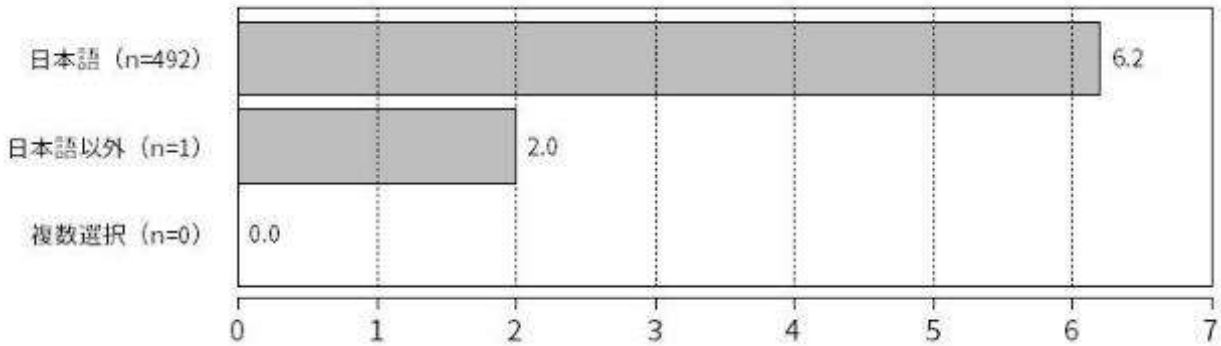
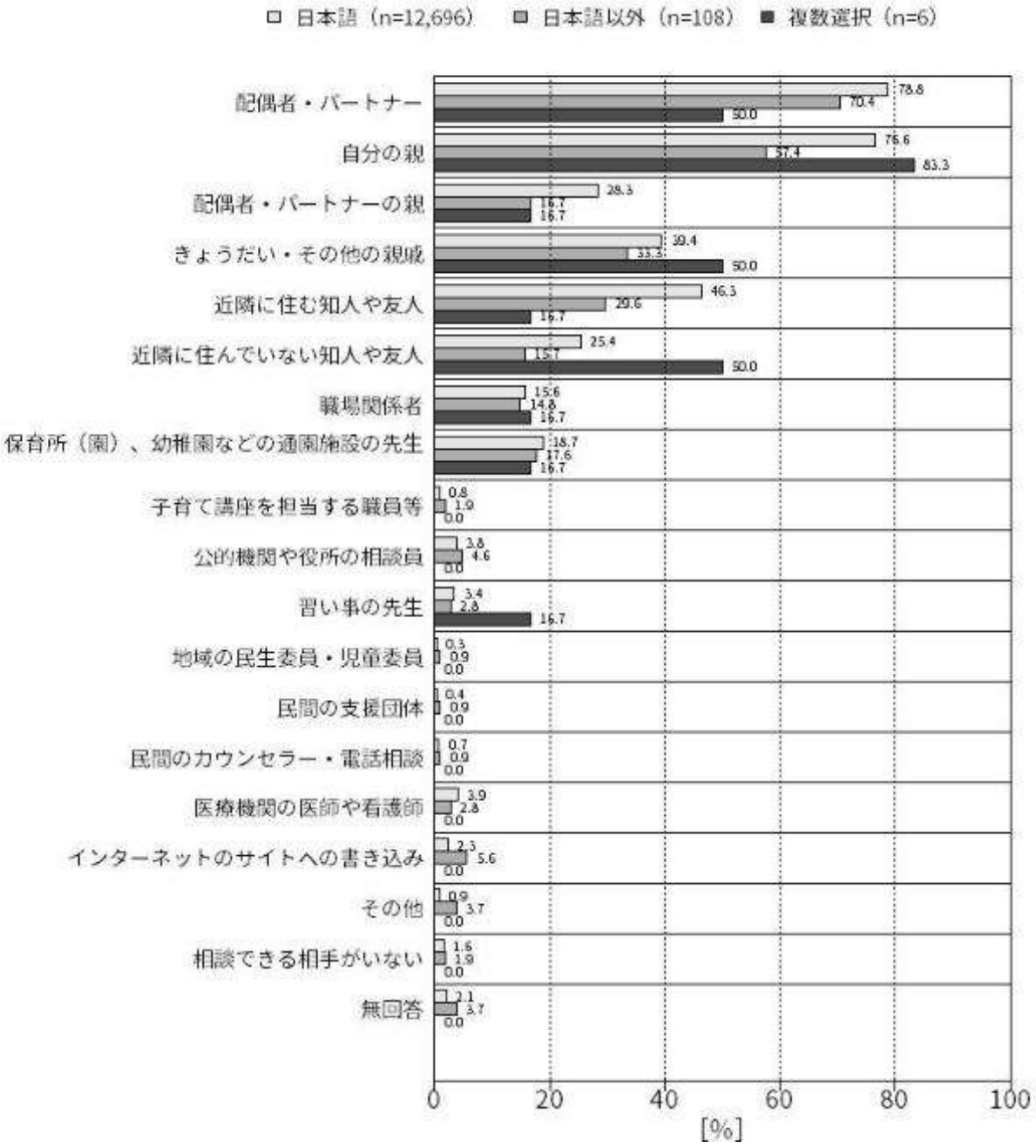


図 149. 母国語別に見た、支えてくれる人の数の平均

日本語以外を選択した人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

母国語別に見た、相談相手（問 2×問 35）

＜大阪市 24 区＞



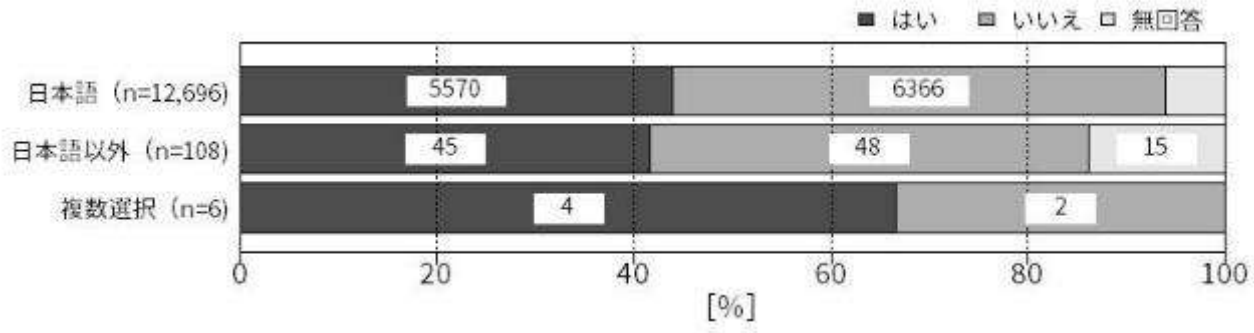
＜大阪市阿倍野区＞

図 150. 母国語別に見た、相談相手

日本語以外を選択した人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

母国語別に見た、回答者の健康診断受診の有無（問 2×問 39）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市阿倍野区＞

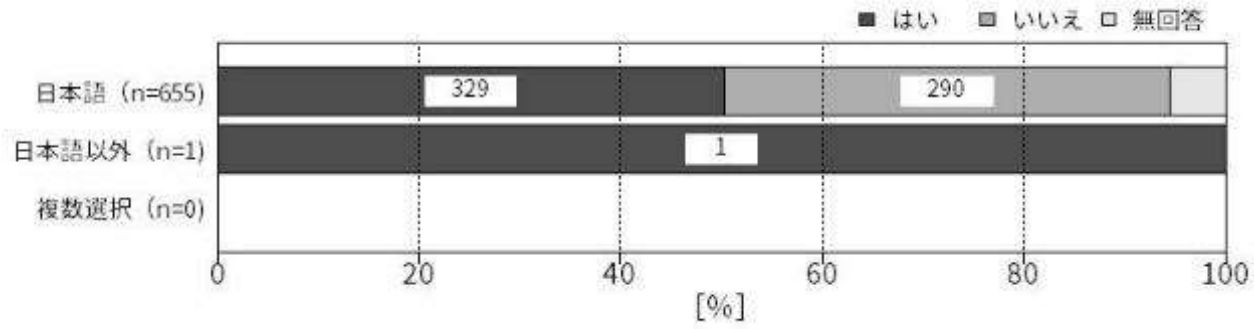
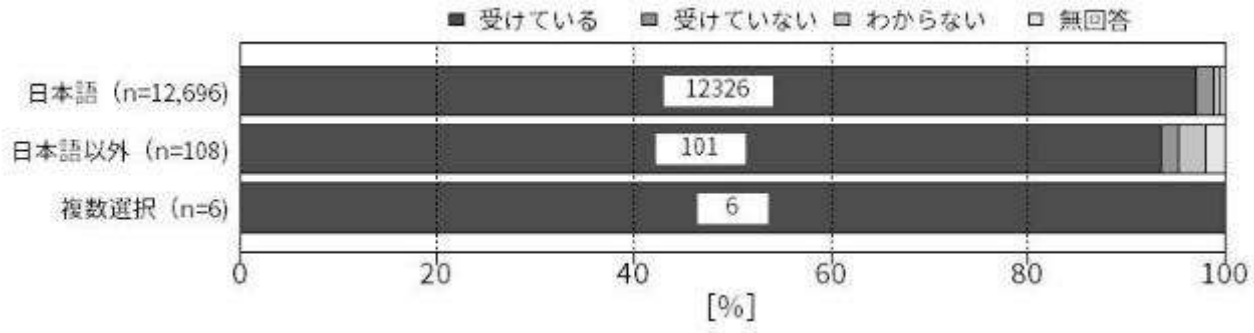


図 151. 母国語別に見た、回答者の健康診断受診の有無

日本語以外を選択した人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

母国語別に見た、予防接種（麻しん・風しん混合ワクチン）受診の有無（問 2×問 27）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市阿倍野区＞

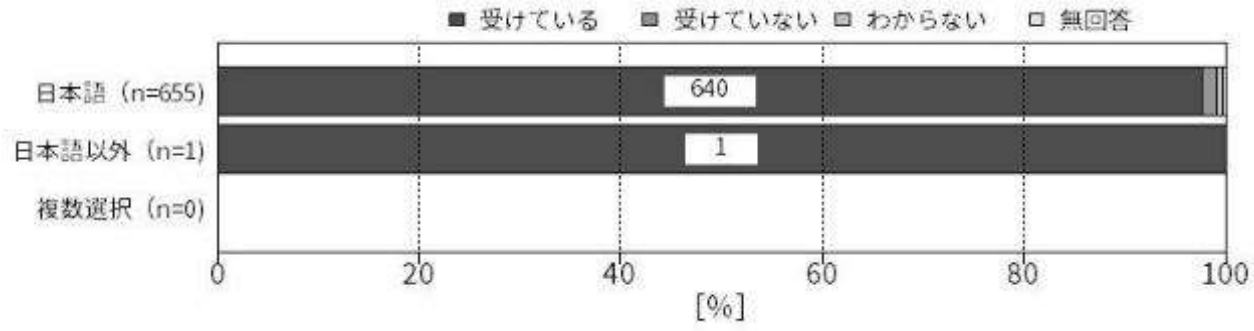
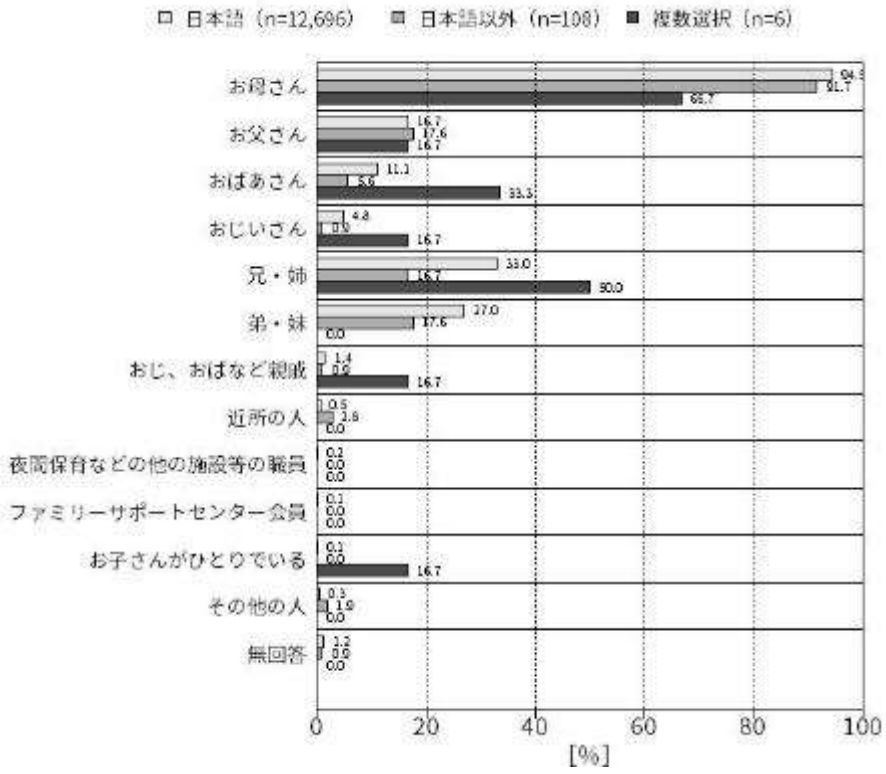


図 152. 母国語別に見た、予防接種（麻しん・風しん混合ワクチン）受診の有無

日本語以外を選択した人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

母国語別に見た、子と過ごす人（問 2×問 10）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市阿倍野区＞

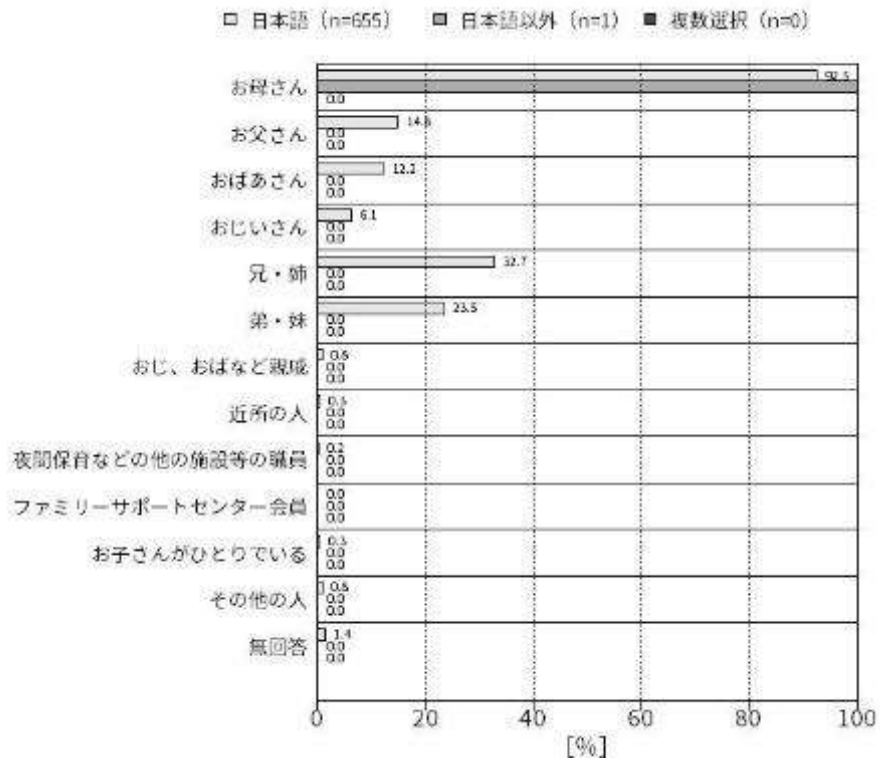
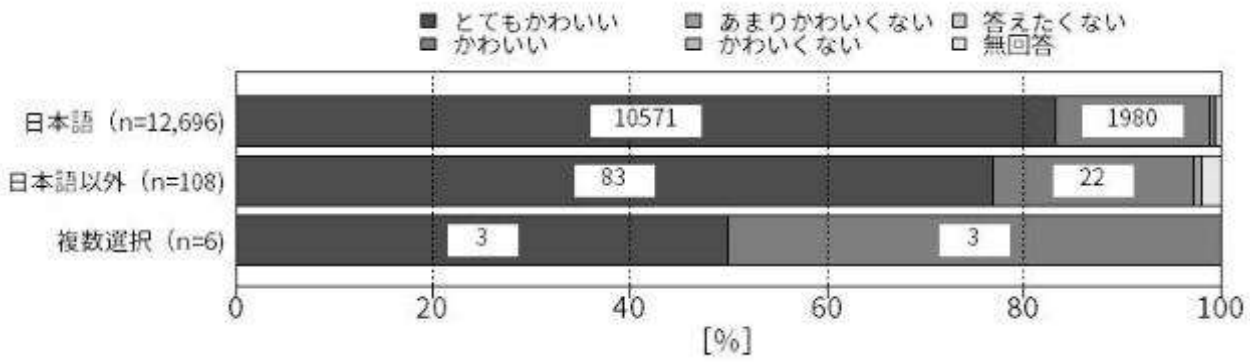


図 153. 母国語別に見た、子と過ごす人

日本語以外を選択した人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

母国語別に見た、子との関係（１）子どもをかわいいと思うか（問 2×問 31-1）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市阿倍野区＞

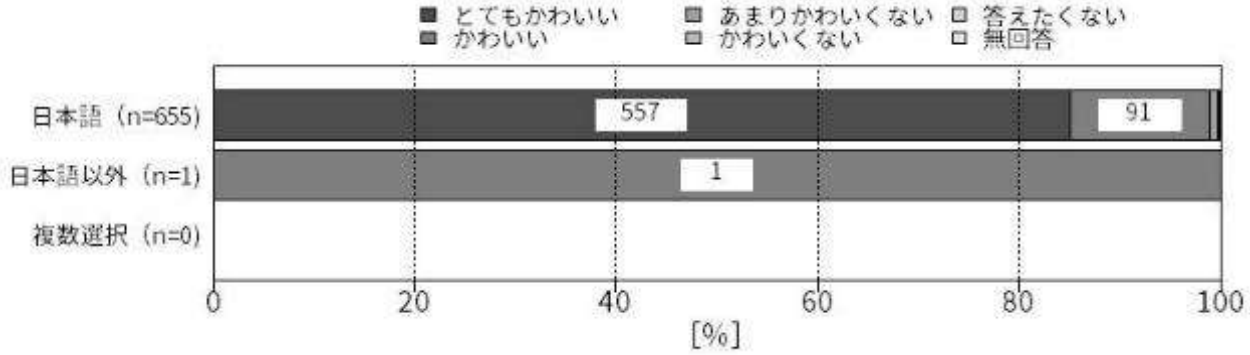
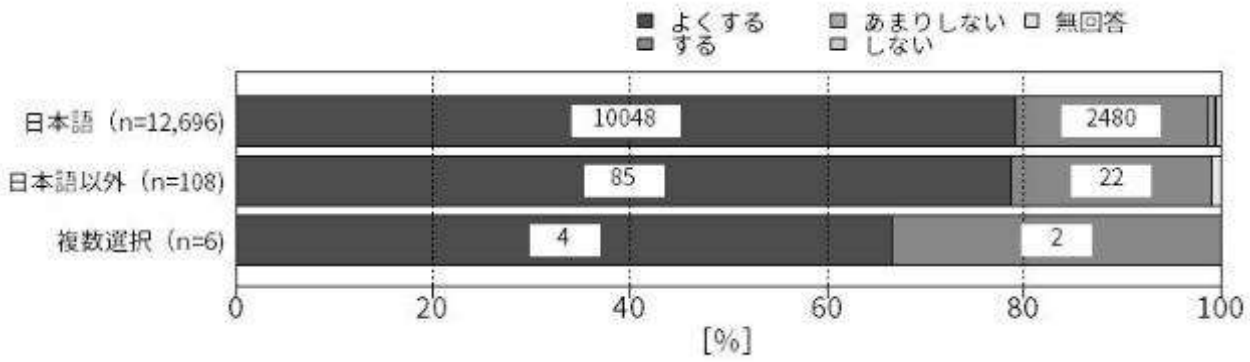


図 154. 母国語別に見た、子との関係（１）子どもをかわいいと思うか

日本語以外を選択した人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

母国語別に見た、子との関係（２）子どもと会話（問 2×問 31-2）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市阿倍野区＞

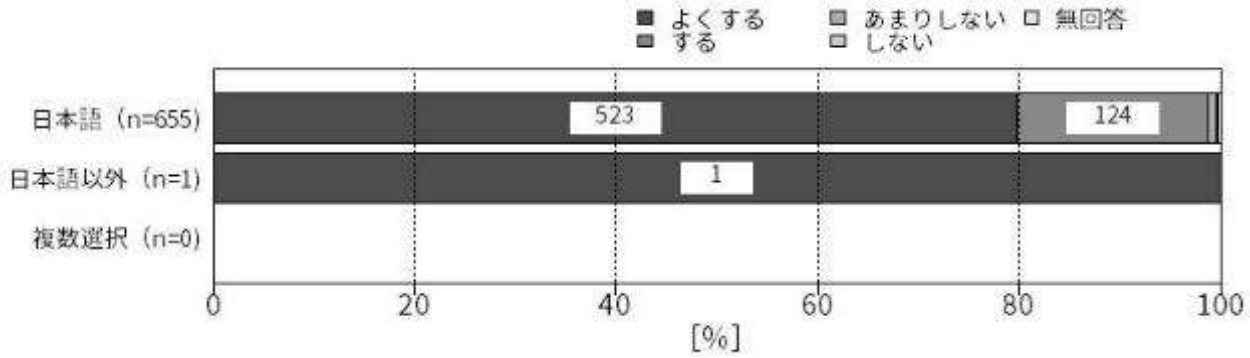
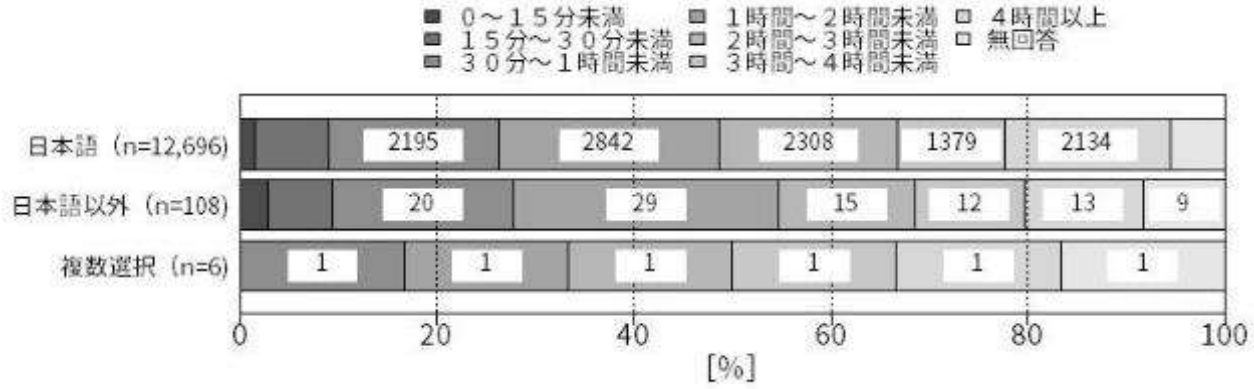


図 155. 母国語別に見た、子との関係（２）子どもと会話

日本語以外を選択した人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

母国語別に見た、子との関係（３）子どもと一緒にいる時間（平日）（問 2×問 31-3-平日）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市阿倍野区＞

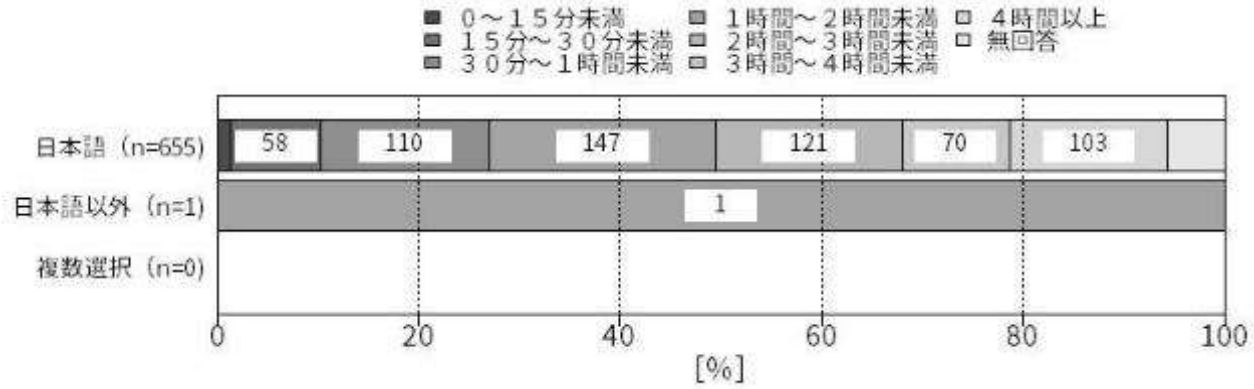
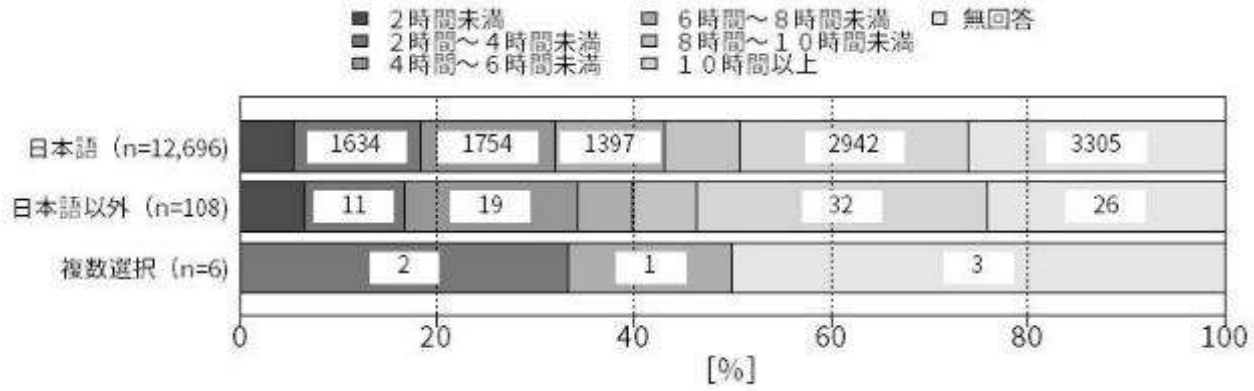


図 156. 母国語別に見た、子との関係（３）子どもと一緒にいる時間（平日）

日本語以外を選択した人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

母国語別に見た、子との関係（３）子どもと一緒にいる時間（休日）（問 2×問 31-3-休日）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市阿倍野区＞

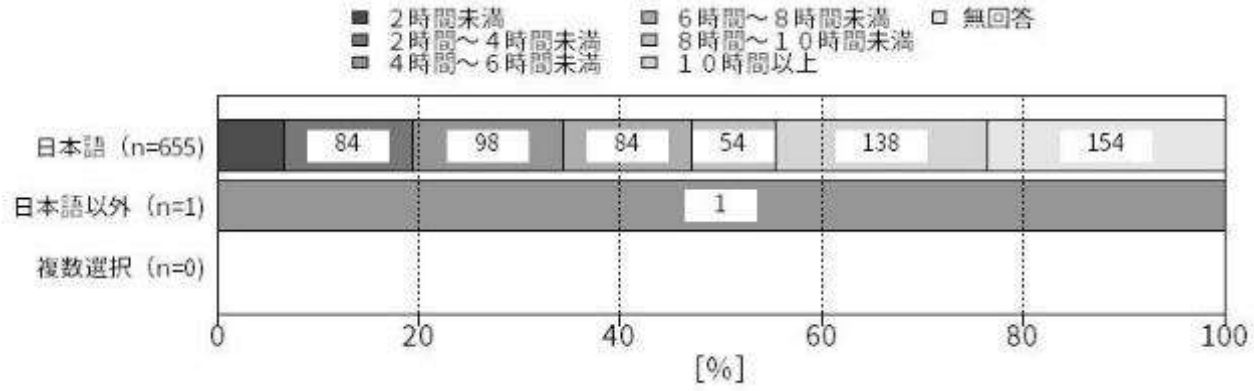
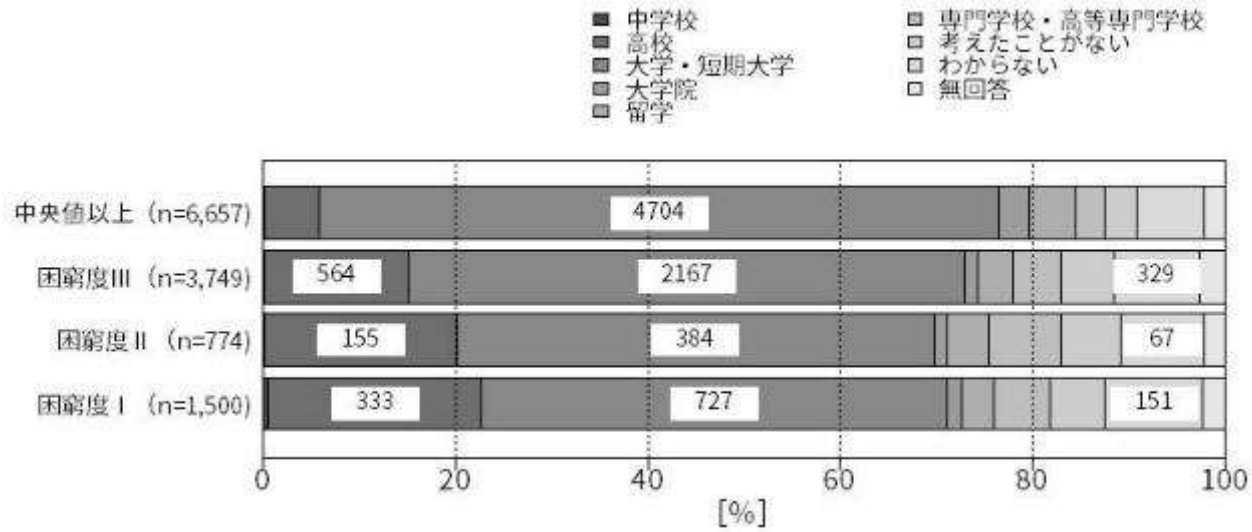


図 157. 母国語別に見た、子との関係（３）子どもと一緒にいる時間（休日）

日本語以外を選択した人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

困窮度別に見た、子の進学先希望（問 32）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市阿倍野区＞

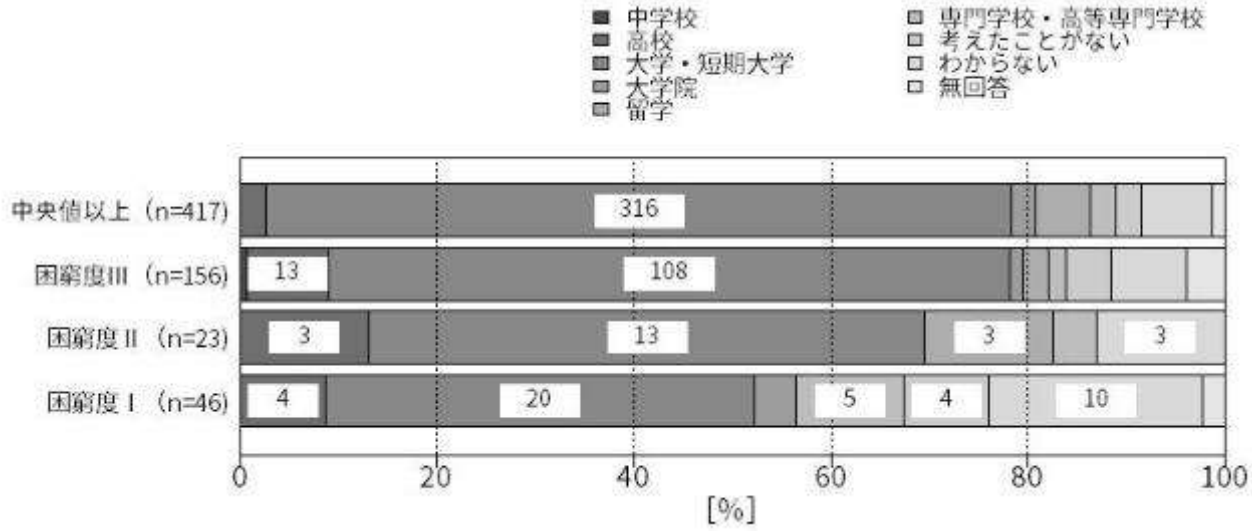
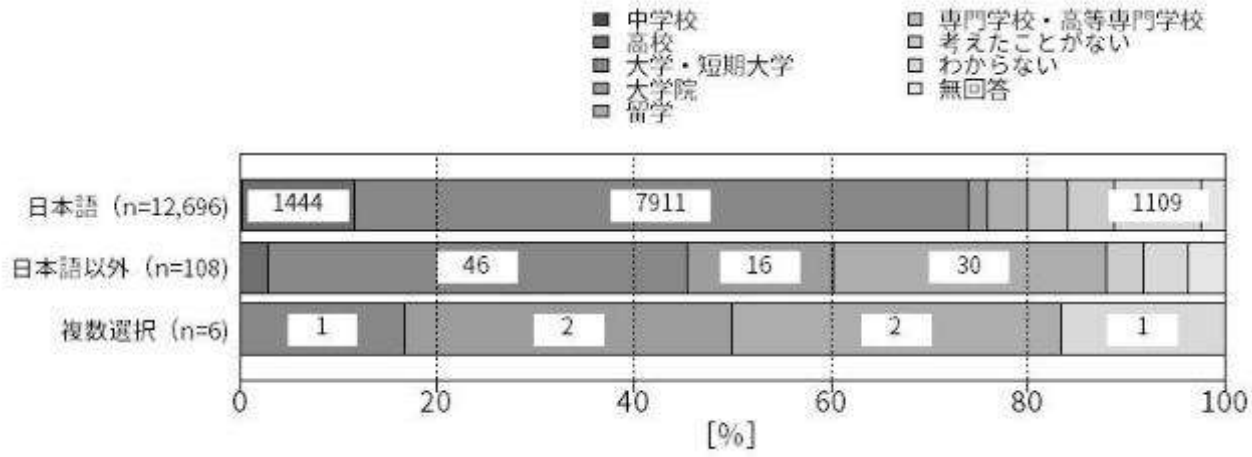


図 158. 困窮度別に見た、子の進学先希望

困窮度が高くなるにつれ、子どもの進学先を「高校」までと希望する割合が多くなっている。「高校」までと回答した割合は、中央値以上群では 2.6%であり、困窮度Ⅰ群では 8.7%だった。

母国語別に見た、子の進学先希望（問 2×問 32）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市阿倍野区＞

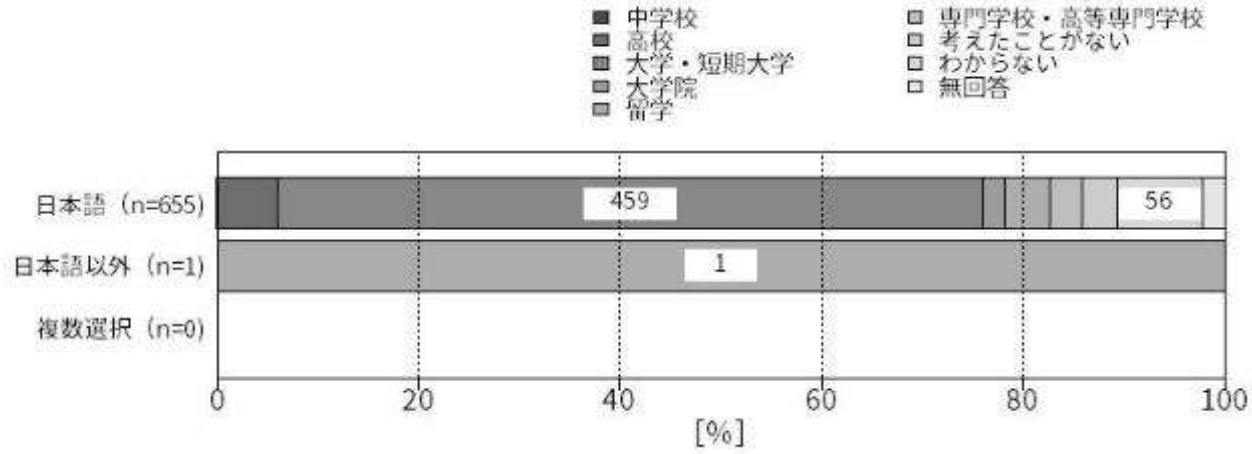
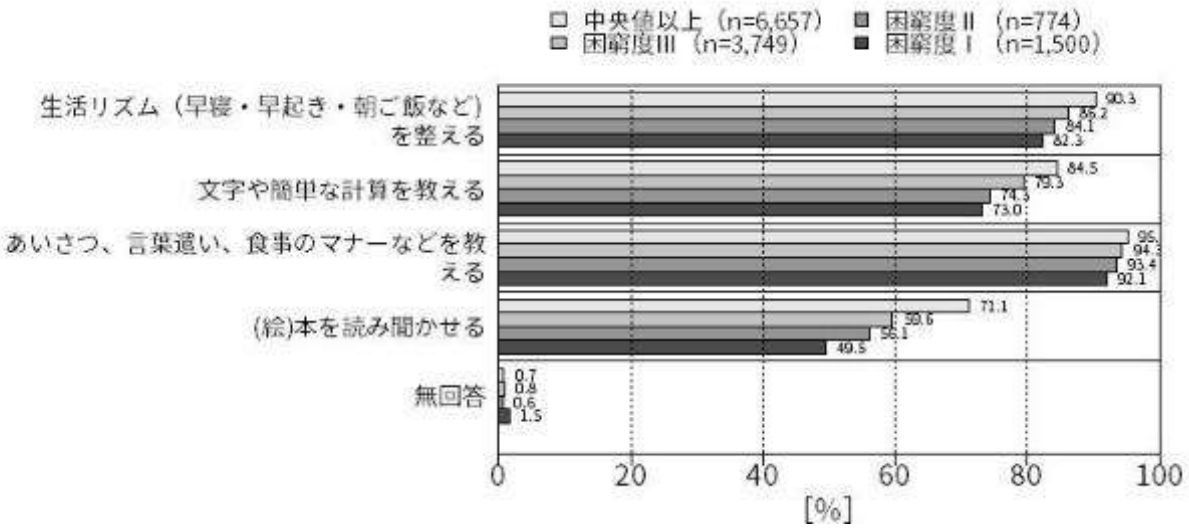


図 159. 母国語別に見た、子の進学先希望

日本語以外を選択した人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

困窮度別に見た、しつけ（問 30）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市阿倍野区＞

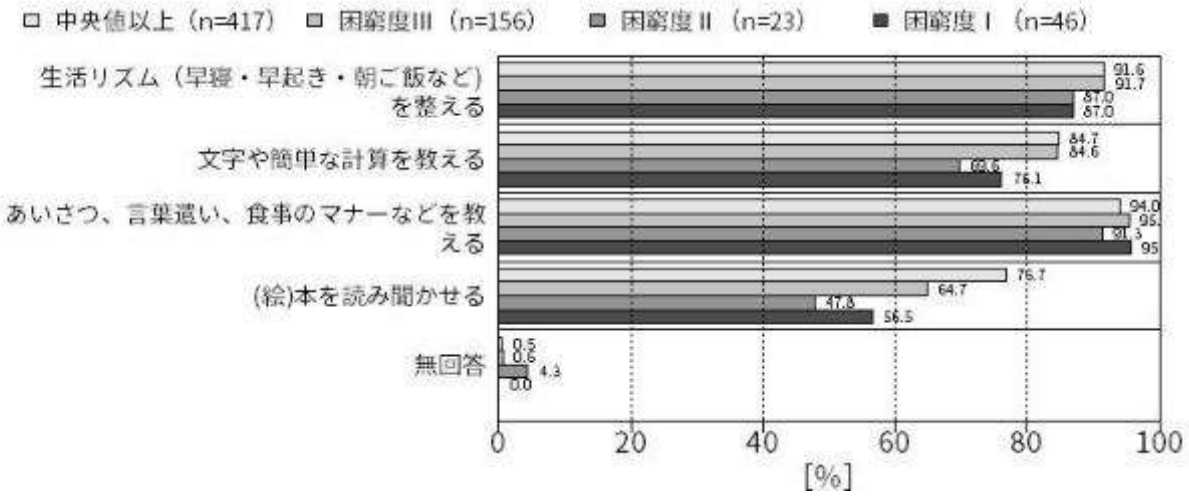


図 160. 困窮度別に見た、しつけ

子どもに対してしていることについて「生活リズム（早寝・早起き・朝ごはんなど）を整える」と回答した割合は、中央値以上群では 91.6%であったのに対して、困窮度Ⅰ群では 87.0%だった。「文字や簡単な計算を教える」と回答した割合は、中央値以上群では 84.7%であったのに対して、困窮度Ⅰ群では 76.1%だった。「(絵) 本を読み聞かせる」と回答した割合は、中央値以上群では 76.7%であったのに対して、困窮度Ⅰ群では 56.5%だった。